

るもの五棟なり。

移轉實施月別棟數表 (本表棟數は協議移轉及直轄移轉のものを含む)

年	昭和二年												大正十五年			
	三月	二月	一月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月				
移轉命令	二	一七	四六	三三	三三	一〇八	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	二
	二	一七	六五	九〇	九〇	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	二
補償金決定	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
工事完了豫定	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
工事完了	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

第四十一地區 乙 建物其の他の工作物移轉

昭和三年		三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
1	1	1	2	2	7	2	1	1	1
5,368	5,368	5,388	5,390	5,397	5,397	5,399	1	1	1
934	467	1,415	142	2	1	1	1	1	1
3,373	3,840	5,255	5,397	5,399	1	1	1	1	1
455	502	766	1,296	35	53	201	1	1	1
1,796	2,298	3,064	4,360	4,675	5,198	5,399	1	1	1
434	53	56	1,437	435	543	37	2	2	2
1,608	2,130	2,646	4,083	4,588	5,061	5,388	5,399	5,399	5,399

第二節 代執行

移轉命令を受け指定期限を経過し、現場係員より工事實施方に付屢次誘導督勵を爲すも、容易に其の義務を果さざるため、戒告を爲したる人員二百二人、建物二百五十三棟、工作物九件ありたり。
 前記の内戒告後も尙其の義務を履行せざる爲代執行を爲したる人員九人、建物十棟あり、其の主なる原因は借地權に關する紛争に因り義務者自ら移轉すること困難なりしもの一人一棟、全く義務者の怠慢に依るもの八人九棟なり。

第三節 臨時收容家屋

移轉工事の開始に伴ひ臨時收容家屋の必要に迫られたるを以て、昭和二年四月吉野町百五番に移動式住宅十五棟、同物置二棟を設置し、翌五月より希望者に使用せしめ、爾來移轉工事の進捗に伴ひ使用希

第三節 臨時收容家屋

移轉工事の開始に伴ひ臨時收容家屋の必要に迫られたるを以て、昭和二年四月吉野町百五番に移動式住宅十五棟、同物置二棟を設置し、翌五月より希望者に使用せしめ、爾來移轉工事の進捗に伴ひ使用希

望者増加したるを以て順次増設を爲し、移轉工事終了迄其の用に供したり、之が棟數及收容世帯數等を示せば左の如し。

設置場所	棟數		設置撤去		期間		容量					
	住宅	物置	年月	年月	住宅	物置	世帯數	一棟當人世帯數	人員	一棟當人世帯數		
淺草區吉野町百五番	一五	二	昭和三、七	昭和三、七	自昭和三、七	同上	一四七	八・九〇	七九	五・九三	七	三・五〇
同 山谷町三十五番	三三	六	昭和三、九	昭和三、九	自昭和三、九	同上	二〇五	六・四二	一、〇六六	三三・三三	二五	四・一七
同 橋場町百六十五番	三六	四	昭和三、〇	昭和三、〇	自昭和三、〇	同上	二二六	六・五	一、二二七	三〇・〇八	一九	四・七四
計	八三	一二					五八八	七・〇八	三、〇三三	三七・〇一	五二	四・二五

第四節 宅地造成

本地區は地勢一般に平坦にして且道路標高の變更少かりしも、道路工事並建物移轉關係により假下水工事を要したる箇所多かりし爲、工事件數四十一件二百四箇所に及べり、而して工事種別は假下水最も多く十九件百十四箇所、其の他盛土工十二件六十七箇所、土留工七件八箇所(内板柵工六件七箇所此の面坪七十一坪三、大谷石積工一件一箇所此の面坪五坪一)切土工三件十五箇所なり。

工事著手は昭和二年十月元吉町十七番の假下水及盛土工を最初とし、それより順次各種工事を施行し同三年九月山谷町七十四番の盛土工を最後とし、四十一件二百四箇所の工事を全部完了したり、之れに

因る宅地造成完了總面積は一萬五千八百五十二坪一合三勺なり、其の工事狀況を見るに左の如し。

工事種別	工事		數量	金額	直		營		請		負	
	件數	箇所			件數	箇所	件數	箇所	件數	箇所	數量	金額
假下水	一元	二四	一、九六二・六五 ^間	七、八五〇・六〇	一	八	九六〇〇	三八四・〇〇	一八	一〇六	一、八六六・六五 ^間	七、四六六・六〇
土留工	七	八	七六・四〇 ^{兩坪}	二、二九二・〇〇	—	—	—	—	七	八	七六・四〇 ^{兩坪}	二、二九二・〇〇
盛土工	三	六	一、三六八・八〇 ^{立坪}	一〇、七五五・七〇	五	三	一一・九〇 ^{立坪}	九五〇・九四	七	四	一、〇四四・九〇 ^{立坪}	九、八四三・三三
切土工	三	一五	二七九・九〇 ^{立坪}	二、〇三三・三〇	—	—	—	—	三	一五	二七九・九〇 ^{立坪}	二、〇三三・三〇
計	四	二四	—	三、三九〇・七〇	六	九	—	一、三四四・四四	三三	一五	—	二、六〇五・三三

第六章 墳墓移轉

本地區に於て整理を要したる墓地は、本市所有元寺院境内共葬墓地十三筆、私有墓地三十九筆此の總面積一萬七百四十七坪二合二勺にして、之に所在する墓碑一萬六千八百七十九基なり。

前記墓地の内一般宅地の換地又は公共用地となりたる面積は五千八百七十七坪九合三勺にして、之に所在し移轉を要したる墓碑は九千三百七十九基なり。

昭和二年四月より保元寺以外の墓地に就き墓碑其の他の現地調査に著手し、其の調査に基き移轉料の算定を爲し、同年六月より同三年七月迄に墓地管理者と順次協議を遂げ、同二年八月より翌三年十月に

前記墓地の内一般宅地の換地又は公共用地となりたる面積は五千八百七坪九合三勺にして、之に所在し移轉を要したる墓碑は九千三百七十九基なり。

昭和二年四月より保元寺以外の墓地に就き墓碑其の他の現地調査に著手し、其の調査に基き移轉料の算定を爲し、同年六月より同三年七月迄に墓地管理者と順次協議を遂げ、同二年八月より翌三年十月に

至る間に於て夫々移轉することゝ爲したり、又保元寺の管理に係る墳墓は他寺院の墳墓移轉に先だち、復興局と東京佛教護國團との内協議に基き、同墓地内に新設せる納骨堂に移轉を了したるものにして、之に對する移轉料交附の契約は昭和二年六月に至り締結せり。

以上に要したる移轉料の總額は二十一萬三千九百九十圓九十三錢、内國負擔額五千七百七十六圓二十五錢市負擔額二十萬七千三百十四圓六十八錢にして、其の支拂は昭和三年十二月迄に全部之を了したり。前記契約及移轉完了豫定年月日並移轉料を管理寺院別に示せば左の如し。

管理寺院名	要移轉 墓碑數	埋葬 靈數	契 年月日	豫 移轉完了 年月日	移 轉 料				
					墳 墓	工 作 物	雜 費	計	
廣 德 寺	一六八	九五一	昭和二、六、八	昭和二、三、三	三、三四・六〇	一四六・三六	八〇六・二五	四、一七七・二一	二四・八六
春 慶 院	一三三	一、二七〇	同 二、六、七	同 二、三、三	三、八八・六〇	九二・八七	九七・二五	四、八七六・六二	二二・二二
東 禪 寺	一八八	一、五四〇	同 二、六、二	同 二、〇、一五	三、三六・〇〇	一、八六二・四六	八三・五〇	六、〇九・九六	三三・〇二
道 林 寺	二九五	一、九六八	同 二、六、八	同 二、二、三二	五、二二・八〇	八〇四・〇七	一、〇三・五九	六、九三九・四三	三三・五三
易 行 院	一七五	一、三六四	同 二、〇、四	同 三、五、一〇	三、二四・三〇	四〇〇・七六	八〇三・五八	四、五八・六四	二四・九一
宗 念 寺	四五	二、九八八	同 二、九、一	同 三、四、三〇	七、九三・七〇	六六・六六	一、五四・七四	一〇、一九五・〇五	二二・九九
常 福 寺	三五	二、一九二	同 二、九、五	同 三、三、三	六、三六・四〇	三三・九〇	一、二七・二八	七、七五・五八	二四・四九
本 性 寺	二九六	九四九	同 二、〇、一	同 三、三、三	四、四九〇・八〇	一九二・一〇	一、二三・七〇	五、八〇五・六〇	一九・六一
通 入 寺	二八三	七四二	同 三、三、七	同 三、五、三	二、八三六・一〇	七・五〇	八八・〇七	三、六二・六七	二二・九四
永 傳 寺	六〇八	九三六	同 二、〇、九	同 三、三、三	三、三三・九〇	—	九四・八八	四、三〇・七八	二〇・七三

第四十一地區

乙 建物其の他の工作物移轉

七九三

第四十一地區

乙 建物其の他の工作物移轉

出山寺	三三	七五	昭和二、七、九	昭和二、八、二〇	三、五四・〇〇	五〇・九五	八七・五〇	四、四三・四五	一九・八四
福壽寺	三三	一、七九	同	二、九、九	三、三、三	一七・二八	九四・三〇	四、八八・七八	三三・〇八
保元寺	九七	一、七三	同	二、六、九	—	—	—	二、二四・一〇	二二・七〇
正憶院	二六	七六	同	三、二、三	昭和三、五、三	五八・七二	七二・九六	三、六九・八八	一八・六七
玉蓮院	一六	九三	同	二、八、八	二、二、三	六七・四〇	七四・四二	三、九三・三二	二四・二二
安昌寺	三二	二、〇六	同	二、九、二	二、一、三〇	三一・三三	一、一三・〇七	七、一四・七五	三三・二六
心光院	九七	四〇	同	二、一〇、〇	二、二、三	五五・七八	四九・五九	二、一〇・九四	三三・七三
眞福寺	一七	八二	同	二、一、六	三、四、三〇	一六・二〇	一〇六・五四	四七・一四	一五・一五
遍立寺	二〇	五四	同	二、一、五	三、三、三	—	八九・八一	三六・四一	一七・三二
廣樂寺	二四〇	一、三三	同	二、一、二	三、八、一五	二〇六・五〇	一、〇四・三三	五、四二・六三	三三・五五
稱福寺	二〇七	一、〇五	同	三、七、四	三、一〇、二〇	二九五・〇四	八七・九五	四、六七・七九	三三・五九
八幡神社	三三	二六	同	二、八、九	二、二、二〇	—	七五・六七	二九・八七	二二・六九
本龍寺	三三	二、五九	同	二、三、三	三、五、三	四七・九二	一、二四・二二	七、九七・六四	一四・五一
潮江院	二六〇	一、〇八	同	二、〇、六	三、四、三〇	二二〇・八〇	一、一五・八五	五、八〇・〇五	三三・六二
慶養寺	二七	一、〇〇	同	二、〇、六	三、四、三〇	九三・五九	一、〇三・九五	六、〇八・三四	一六・五一
勝運寺	四五	二、六四	同	二、九、七	三、四、三〇	一八五・七五	一、五九・四〇	九、七二・一五	一〇・八一
蓮窓寺	六四	五〇	同	二、二、一	三、四、三〇	七七・二五	二七・四九	一、八三・三二	二〇・八五
長昌寺	三六	一、三六	同	二、〇、八	三、三、一五	一六五・六五	一、二二・二〇	七、四八・八五	二〇・三二
本壽寺	一	一、七〇	同	二、八、三	二、二、一五	—	二三・七六	一、四〇・五六	二、四〇・五六

蓮窓寺	六	五〇	同	二、二	同	三、四、三〇	七五・六八	七六・二五	二七・四九	一、八三・三三	二〇・三五
長昌寺	三六	一、三六	同	二、〇、一八	同	三、三、一五	六、一一・〇〇	一六五・六五	一、二二・二〇	七、四九・八五	二〇・三三
本壽寺	一	一、七五	同	二、八、三	同	二、二、一五	一、一六八・八〇	—	二、三三・七六	一、E〇二・五六	一、E〇二・五六

正法寺	二九	一、〇五	同	二、六、六	同	二、二、三、五	四、五九・二〇	二六・五〇	一、二四九・五五	五、七六・二五	一九・三三
光照院	二七〇	一、五七	同	二、九、一	同	三、二、一八	四、八〇・六〇	二四・一〇	一、一〇〇・六五	六、一七・三五	二二・六六
常福寺	二八五	一、七八	同	二、一、〇	同	三、五、三〇	五、〇七〇・四〇	九九・二〇	一、〇四・〇八	六、一八三・六八	二二・七〇
理昌院	二一七	五五〇	同	二、八、九	同	二、一〇、三	一、七九二・八〇	八・三四	五七・八四	二、三六・九八	一九・九九
源照寺	二一六	八三三	同	二、一〇、八	同	三、三、三	一、九七七・八〇	九九・〇四	五九三・三四	二、六七〇・一八	二二・〇二
仰願寺	一八五	一、一三	同	二、一、八	同	三、五、三	三、四四・五〇	一四五・二〇	八五三・六三	四、四一三・三三	二二・八六
淨雲寺	五三	三、三六	同	二、七、二	同	二、二、三	九、八九・〇〇	二九三・二七	一、九七八・二〇	二、一六二・四七	二二・七一
寶藏院	一七九	九七九	同	二、一、七	同	三、四、三〇	三、〇七六・〇〇	二二二・九四	七六九・〇〇	四、〇六八・九四	二二・七三
念佛院	四八	三四四	同	二、一、〇	同	三、五、一五	八三四・六〇	七三・三〇	二九二・一一	一、一〇〇・〇一	二五・〇〇
源壽院	一一〇	八〇	同	二、七、二	同	三、一、三	一、九五・四〇	九八・八〇	五七四・六二	二、五八八・八二	二二・五三
瑞泉寺	一六八	一、〇八	同	二、九、一	同	三、三、三	二、九三・四〇	五〇・六六	七三三・一〇	四、二四六・一六	二五・二七
淨性院	一〇二	五五四	同	三、二、〇	同	三、五、三〇	一、七八・八〇	二七九・二三	五五四・五四	二、五九五・五七	二五・四五
遍照寺	一〇二	五七	同	二、九、七	同	三、三、三	一、七三・六〇	一〇〇・二〇	九一七・〇八	二、四〇〇・八八	二二・九三
計	九、三七九	五〇、六四					一六七、五〇・九三	一〇、八四四・四七	三三、五三、三三	三三三、〇九〇・九三	三三・七三

備考 本壽寺の管理に係る墓地の要移轉墓碑一基なるに不拘、多額の移轉料を要したるは天保十年の大飢饉及同十二年の疫癘流行に因り斃死せる者千七百五十人合葬しありたるに因る。

前記墳墓の移轉は當局の指導督勵と、管理寺院の努力とに依り豫定の如く、昭和三年十月迄に全部之が完了を見たり、尙以上墳墓の内宗念寺、常福寺(山谷町所在)福壽院、八幡神社、常福寺(吉野町所在)理昌院、源照寺及淨性院の管理に係るものは郊外に、保元寺の管理に係るものは同寺の新設したる納骨堂に、其の他のものは何れも各寺院の特設墓地に移轉したり。

丙 地下埋設物其他工作物整理

第一章 概 説

本地區に於ける工事數量は本枝管線處理電柱六百四十三本、管線路二萬千七百九十三間四、其他八十九箇所(一地區集計電柱三百四十七本、管線路一萬九千五百三十九間六、應急整理一工事電柱三十七本、管線路百間三、其他八十七箇所、假本整理電柱二百五十九本、管線路二千五百五十三間五、其他二箇所)及私有管線處理八千七百五十三件にして、内道路占用の許可又は承認を爲したる要求工事八百九十九件内道路後修を要したるもの五百七十八件なり、之を事業別に見るに水道工作物管線路六千三百五十九間、其他千八百九十七件及七十一箇所整理費九萬五千四百六十三圓三十二錢、市電工作物電柱二百七十本、管線路千六百十二間、其他六百九十八件及四箇所整理費一萬四千六百四十六圓十七錢、東電工作物電柱三百七十三本、管線路千百十六間、其他四千七百二十五件及九箇所整理費六萬八百十圓十一錢、瓦斯工作物管線路一萬二千七百六間四、其他千四百三十三件及五箇所整理費七萬二千五百五十六圓十六錢なり、而して本地區に於ける整理費は總計二十四萬三千七百七十圓二十六錢にして、内私有管線の十一萬九百二十六圓七十二錢を最高とし、一地區集計の九萬三千六百八十四圓三十二錢之に次ぎ、其他は假本整理、道路後修、應急整理一工事の順序なり、是等の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事一覽

種別	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
集一地區計	電柱	四、九八・三三	一、一五・四八	一七七本	四、六三・八六	一七〇本	二、六四・三三	二、九三・〇三	三、〇〇・三三	二、六八・〇六
	管線路	三、一五・四八	一、一五・四八	八、九六・五〇	三、〇〇・三三	三、〇〇・三三	三、〇〇・三三	三、〇〇・三三	三、〇〇・三三	三、〇〇・三三
應急工事	電柱	七ヶ所	一、二二・三三	一八・七ヶ所	六五五・三九	九ヶ所	一八九・六九	五ヶ所	一〇〇・三三	一、三六・〇六
	管線路	七ヶ所	一、二二・三三	二八・三三	一、二二・三三	九ヶ所	一八九・六九	五ヶ所	一〇〇・三三	一、三六・〇六
假本	電柱	一、四〇・〇七	六、四四・八六	七本	七、四四・八六	一八〇本	七、九四・一五	七二・八	二、二五・五	八、七〇・六二
	管線路	一、四〇・〇七	六、四四・八六	二ヶ所	三、四・六五	一八〇本	七、九四・一五	七二・八	二、二五・五	八、七〇・六二
整理	其他	六、四四・八六	六、四四・八六	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五
	其他	六、四四・八六	六、四四・八六	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五	七、九四・一五
私有管線	管線路	一、八七・七五	七、五・四三	六九八件	三、六八・二五	四、七五・五	四、七五・五	一、四三・三	八、七五・五	一、四三・三
	管線路	一、八七・七五	七、五・四三	六九八件	三、六八・二五	四、七五・五	四、七五・五	一、四三・三	八、七五・五	一、四三・三
道路後修	管線路	二七五件	六、九七・三三	八九・四四	八、九・四四	三〇件	八、九・四四	二六九件	五、一七・七五	一三、一四・三〇
	管線路	二七五件	六、九七・三三	八九・四四	八、九・四四	三〇件	八、九・四四	二六九件	五、一七・七五	一三、一四・三〇
合計	管線路	六、三三・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇
	管線路	六、三三・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇	一、六二・〇〇
合計	管線路	一、八七・七五	七、五・四三	六九八件	三、六八・二五	四、七五・五	四、七五・五	一、四三・三	八、七五・五	一、四三・三
	管線路	一、八七・七五	七、五・四三	六九八件	三、六八・二五	四、七五・五	四、七五・五	一、四三・三	八、七五・五	一、四三・三

第四十一地區

丙 地下埋設物其他工作物整理

七九七

第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

備考 一 數量欄中には附帯工事數量は掲げざるも金額は合算せり。

二 事業者別合計欄數量には道路後修の數量を含まず。

年度別工事進捗状況

種別	大正十五年		昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		計
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
一地區集計	電柱	58本	3,410.57	137本	9,673.38	100本	8,081.06	33本	838.55	347本	22,003.56
	管線路	2,544.6	8,889.00	8,673.0	3,560.96	7,430.25	4,859.21	5,999.0	4,775.75	19,559.6	72,680.76
應急整理一工事	電柱	1本	332.06	10本	355.19	26本	2,917.2	10.6	159.92	37本	3,484.66
	管線路	18.7	655.39	16.0	1,420.95	55.0	3,780.0	6.7	765.57	100.3	2,574.06
假本整理	電柱	2本	50.22	17本	7,912.48	10.4	7,011.24	6.7	4,430.06	25.9	8,766.53
	管線路	1,010.6	4,668.0	7,912.48	4,701.14	1,106.6	4,430.06	9.5	2,153.5	25.9	9,131.20
私有管線	管線路	3,930.49	8,041.8	4,823.3	6,123.54	180	7,457.34	578	13,143.50	1,171.5	28,796.72
	其他	21.1	721.30	12.7	4,949.96	180	7,457.34	578	13,143.50	771.5	21,433.50
合計	電柱	60本	5,012.2	207本	19,091.85	203本	17,091.73	103本	4,440.06	583本	26,635.84
	管線路	2,544.6	8,889.00	8,673.0	3,560.96	7,430.25	4,859.21	5,999.0	4,775.75	19,559.6	72,680.76
進捗歩合%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

合	計	二二〇・〇	三、八三・七	二〇、四〇・八	四、九二・七	一〇、九三・八	二、八二・五
進	歩	一	二六	五〇	一九	四	一〇〇
歩	合						
合	%						

國市負擔區分

種別	水		道		市電		電東		氣電		瓦斯		計
	市	國	市	國	市	國	市	國	市	國	市	國	
一地區集計	計	九四四・七六	計	二六七・二〇	計	六〇〇・四二	計	九四八・二六	計	二、八一〇・五四	計	二、八一〇・五四	
	市負擔	三、一六三・七二	市負擔	八、六三九・三〇	市負擔	一九、四一三・六〇	市負擔	三〇、六五七・一六	市負擔	九〇、八七三・七八	市負擔	九〇、八七三・七八	
應急整理一工事	計	三、一八六・四八	計	八、九〇六・五〇	計	二〇、〇一四・〇三	計	三一、六五三・三三	計	九三、六八四・三三	計	九三、六八四・三三	
	市負擔	一、一三三・三三	市負擔	一、一六九・三七	市負擔	三、一九三・〇五	市負擔	一、九六八・七一	市負擔	七、四四三・三五	市負擔	七、四四三・三五	
假本整理	計	六、四四九・八六	計	七、九一六・六一	計	七、九四一・五六	計	二、六八一・三四	計	一七、八七二・三七	計	一七、八七二・三七	
	市負擔	一、二五五・九九	市負擔	三、〇〇三	市負擔	一、六七一・二二	市負擔	九四〇・八三	市負擔	二、七三三・九七	市負擔	二、七三三・九七	
事業者	計	四、五三〇・五三	計	三、〇〇八・六八	計	一三、一六〇・一四	計	二四、二七九・九一	計	九五、八三七・二六	計	九五、八三七・二六	
	市負擔	四、六八六・五三	市負擔	三、三三八・七一	市負擔	三、三三七・二六	市負擔	二五、〇七六・七四	市負擔	九八、五六二・三三	市負擔	九八、五六二・三三	
私有管線	計	一三・八九	計	六・九六	計	九五・一八	計	八五・四一	計	一〇一・四四	計	一〇一・四四	
	市負擔	九四五・〇二	市負擔	三、五五・五八	市負擔	五、四〇〇・〇六	市負擔	五、四七三・三九	市負擔	一一、一六四・〇五	市負擔	一一、一六四・〇五	
現金補償(個人)	計	九八八・九二	計	三、五三・五四	計	五、四九五・二四	計	五、五五八・八〇	計	一一、三六五・四九	計	一一、三六五・四九	
	市負擔	一、三〇九・八八	市負擔	三、三六・九九	市負擔	二、六一三・三〇	市負擔	一、〇六二・二四	市負擔	二、九五〇・四一	市負擔	二、九五〇・四一	
計	市負擔	四、四七五・五五	市負擔	三、三五四・二六	市負擔	一八、五六〇・二〇	市負擔	二九、六一三・三〇	市負擔	一〇八、〇〇一・三三	市負擔	一〇八、〇〇一・三三	
	國負擔	四、七六五・四三	國負擔	三、六八一・三五	國負擔	二八、八三三・五〇	國負擔	三〇、六三七・五四	國負擔	一一〇、九三六・七三	國負擔	一一〇、九三六・七三	
道路後修	計	六、九五七・三三	計	八、九一四	計	八、八八九	計	五、二五七・七五	計	一三、一四三・五〇	計	一三、一四三・五〇	
	市負擔		市負擔		市負擔		市負擔		市負擔		市負擔		

第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

合 計	國負擔		市負擔	
	昭和三	昭和四	昭和三	昭和四
	二、三〇四・六四	五九四・一九	九三、一五八・六八	一四、〇五二・九八
	九三、四六三・三三	一四、〇六六・一七	六〇、八二〇・二二	七〇、一七六・二六
	一、九七四・四〇	一、七五〇・六六	二、三三三・三三	二、四三〇・二六
	五、七三五・九五	八〇〇		

年度別工事費支拂進捗状況

種 別	大正十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	支拂未済	計
	昭和十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	支拂未済	計
一 地區集計	—	—	三、七六二・四〇	一三、三三三・八五	四八、五八四・二三	—	九三、六四〇・三三
應急整理一工事	二二二・〇六	一、〇〇・五九	四、六九八・四〇	五七六・八二	九五・四九	—	七、四三三・三五
假本整理	—	五〇・二	七、九〇一・四八	五、四九〇・七二	四、四三〇・〇六	—	一七、八七二・三七
私有管線	—	一、三六一・五七	三七、七九二・六五	六、五〇九・一八	九、〇四二・七九	一、三二〇・五三	一一〇、九六六・七一
道路後修	—	—	一、〇二一・七七	二、二九〇・二二	一〇、〇〇二・七一	—	一三、四一三・五〇
計	二二二・〇六	二、四三三・三六	八三、一三〇・四三	八三、〇九七・五九	七、九八五・二八	一、三二〇・五三	二四、〇一〇・二六
進捗歩合%	—	二	三	三	三〇	一	一〇〇

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

本地區に於ける當初契約數量は電柱三百四十二本、管線路一萬八千九百間五及之に關係せる各種工作物にして此の整理費九萬五千三百三十三圓七十六錢なり、而して假契約は市電工作物に關し昭和二年六月十三日締結したるを、工事は市電工作物に關し同月十五日著手したるを、本契約は市電工作物に關し昭和三年五月一日締結したるを各最初とし、それより逐次各事業者と契約を締結し工事を施行したり、其の事業者別契約並工事狀況を示せば左の如し。

事業者	假契約年月日	本契約年月日	工事著手年月日	工事竣功年月日
市水道局	昭和 二、 八、 三	昭和 三、 五、 二	昭和 二、 八、 三	昭和 五、 四、 三〇
市電氣局	昭和 二、 六、 三	昭和 三、 五、 一	昭和 二、 六、 五	昭和 五、 七、 一五
東京電燈株式會社	昭和 二、 九、 六	昭和 三、 五、 二	昭和 二、 九、 六	昭和 四、 二、 二六
東京瓦斯株式會社	昭和 二、 七、 四	昭和 三、 五、 二	昭和 二、 七、 八	昭和 五、 八、 一五

工事施行中設計變更を爲したる件數四十件ありたる結果、整理數量に於ては増加したるも工作物の種類其の他の關係上工事費に於ては千六百四十九圓四十四錢の減額を爲せり、其の設計變更狀況を示せば左の如し。

種別	電 柱		管 線 路		計
	數量	金額	數量	金額	
當初契約	三三二 ^本	一六、六八・九五 ^円	一八、九〇・五 ^間	七、六四・八一 ^円	三三、三三・七六 ^円
設計變更後(精算)	三三七	一三、〇三・五六	一九、五九・六	七、六八〇・七六	三三、六四・三三

差引増△減	五	五、三六・六	六九・二	△	七、〇四・〇五	△	一、四九・四
-------	---	--------	------	---	---------	---	--------

尙工事並支拂狀況等を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年	度	電		柱		管線路		計	歩合%
		數量	金額	數量	金額	數量	金額		
昭	二	五本	三、四〇・五七	二、五四・六	八、八九・〇〇	一一、二四九・五七		三	
昭	三	一三七	九、六七・三六	八、六七・〇	三、五八〇・九	四、一五三・四七		四	
昭	四	二〇	八、〇八・〇六	六、七四三・〇	二五、四八五・九二	三三、五六・九		三	
昭	五	三	八八・五五	一、五九九・〇	四、七五・七五	五、六四・三〇		六	
計		一三七	三三、〇三・五五	一九、五三九・六	七二、六八〇・七六	九三、六四・三三		一〇〇	

支拂狀況

年	度	負擔		計	歩合%
		國	市		
昭	三	九〇・六	三〇、八四・五五	三二、七六・二四	三
昭	四	四〇・二二	二二、九七・六	一三、三三・八五	四
昭	五	一、五七・六	四七、〇七・五九	四八、五八四・三三	五
計		二、八〇・四	九〇、八九・七六	九三、六八四・三三	一〇〇

昭和五年	昭	和	五	年
計	二、八〇、四〇〇	四七、〇七六・五九	三九七、〇三三	一〇〇
		九〇、八七五・六	四八、五八四・三三	五二
				一〇〇

負擔別對照

負擔區分	潰地面積	比率%		市水道局	市電氣局	東京電燈株式會社	東京瓦斯株式會社	計					
		契約金額	精算金額										
國負擔 幹線街路費	一、二五・八五	三	八五九・三二	九四七・七六	三三・五五	二六七・二〇	四九九・四九	六〇〇・四二	一、〇三三・六四	九四八・一六	二、八五九・九九	二、八一〇・五四	
補助線街路費	二〇、六五・七七	三〇	八、五九三・二三	九、九四七・五五	三、三七五・五九	二、六七一・九五	四、五九四・九三	六、〇〇四・二〇	一、〇三六・四九	九、四八一・五九	二八、〇〇二・二八	一、〇五二・二九	
土地整理費	三三、三三・〇八	六五	一八、六八四・三二	五、五三三・〇一	七、三三三・七五	七、七八九・三三	九、九五五・六七	三、〇〇九・一三	二、六六・四一	〇、七九〇・五二	五、四三三・四六	九、六六六・九五	〇、八九四・八一
市負擔 小公園費	八九・八七	二	五七二・八八	六六三・一六	三三五・〇四	一七八・一三	三〇六・三三	四〇〇・二八	八〇二・四三	六三三・一一	一、九〇六・六八	一、八七三・六八	
計	三三、〇九・七三	九七	二七、六四四・三三	一、六三三・七三	一〇、九四四・八八	一、六三三・〇二	一、六三三・〇二	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	
合計	三三、〇九・七三	一〇〇	二八、〇三三・七三	一、六三三・七三	一〇、九四四・八八	一、六三三・〇二	一、六三三・〇二	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	一、〇三三・六四	

補償金對照

工種	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		計	
	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額
既設工作物と一致せる部分	九、〇七六・六三	六、七四七・七三	八、八五五・四〇	六、八一三・三六	一〇、三九〇・八九	二、一五六一・二五	九〇〇・六九	三、五五六・二七	六〇、二五三・六一	五九、九五九・九八
過不足分(一致せざる部分)	一八、〇四八・八〇	一六、五〇五・八六	一、八三〇・七五	一、七五七・九九	三、八八六・四四	二、五七八・三四	一、四二四・三四	一、四二〇・六七	二五、一九〇・三三	二二、二五三・八六
累計	四二・一五	四二・一五	—	七・六二	—	—	—	—	—	—
小計	二七、〇六三・〇三	二〇、二四三・六〇	八、五八五・一五	八、五七〇・三五	一四、二七七・三三	四、六三三・五九	三、八四四・〇三	五、〇一三・九四	八五、〇四四・六一	八三、二一三・八四
附帶工事分(假工事を含む)	一、〇九六・七九	二、五五六・三四	五五・八〇	三三七・五二	一、〇三九・〇九	五、三三〇・〇七	三、六四七・四一	三三・九七	六、三三九・〇九	八、二二六・八九
補償額計	二八、〇六〇・八二	二二、八〇〇・九四	—	—	—	—	—	—	—	—

第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二節 應急整理一工事

本地區に於ける應急整理一工事は件數五十六件整理費七千四百四十三圓三十五錢全部市負擔にして、昭和二年二月十日東京電燈株式會社關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局八件金額千百十二圓二十二錢、市電氣局十三件金額千六百十九圓三十七錢、東京電燈株式會社二十八件金額三千百九十三圓五錢、東京瓦斯株式會社七件金額千九百六十八圓七十一錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

種別	水道		市電		東電		瓦斯		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
電柱	一	一〇・八	三本	二〇・八	一	一〇・八	一	一〇・八	三本	二〇・八
管線路	一	一八・七	一ヶ所	六五・元	一	一八・七	一	四九・七	一	一五・二
其他	七ヶ所	一、二二・三	二ヶ所	一六・元	一ヶ所	一五・四	五ヶ所	五〇・四	七ヶ所	一、二六・〇
計	一	一、二二・三	二	八三・五	一	二五・四	一	四九・七	一	一、二六・〇
電柱	一	三五・五	二本	三五・五	三本	二、八〇・六	一	四七・七	三本	三、四六・六
其他	一	一六・二	一ヶ所	一六・二	一ヶ所	一六・二	一	一六・二	一ヶ所	一六・二
計	一	三五・五	一	三五・五	一	一六・二	一	一六・二	一	一六・二
出入口電柱	一	一三・七	一本	一三・七	一本	一三・七	一本	一三・七	一本	一三・七
計	一	一三・七	一	一三・七	一	一三・七	一	一三・七	一	一三・七
支出口電柱	一	一三・七	一本	一三・七	一本	一三・七	一本	一三・七	一本	一三・七
計	一	一三・七	一	一三・七	一	一三・七	一	一三・七	一	一三・七

年 度	電 柱		管 線 路		其 の 他		計	歩 合 %
	數量	金 額	數量	金 額	數量	金 額		
大正十五年	一本	二二二・〇六	一八・七	六五五・三元	一ヶ所	—	二二二・〇六	三
昭和元年	一〇	三五五・一九	一八・七	六五五・三元	—	—	一、〇一〇・五八	一四
昭和二年	二六	二、九〇二・七	一六〇	一、四〇〇・九五	一〇	三七五・七四	四、六九八・四〇	六三
昭和三年	—	—	五五・〇	三三七・八〇	一〇	二二九・〇二	五七六・八二	八
昭和四年	—	—	一〇・六	一五九・九二	六	七六五・五七	九五五・四九	二
昭和五年	三七	三、四八八・六	一〇〇・三	二、五五四・〇六	八	一、三三〇・三三	七、四四三・三五	一〇〇
計	—	—	—	—	—	—	—	—

工事進捗状況

合 計	其 の 他		電 柱		管 線 路		計	歩 合 %
	數量	金 額	數量	金 額	數量	金 額		
計	一、二二・三三	一、二二・三三	一、二二・三三	一、二二・三三	一、二二・三三	一、二二・三三	一、二二・三三	一〇〇
其他	—	—	—	—	—	—	—	—
管線路	—	—	—	—	—	—	—	—
電柱	—	—	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—

支 出 障 碍	其 の 他		計	歩 合 %
	數量	金 額		
電 柱	—	—	—	—
管線路	—	—	—	—
其他	—	—	—	—
計	—	—	—	—

第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

支拂狀況

年	昭 和 計	昭 和	昭 和	度	市	負	擔	步	合	%
昭 和 三 年	計						二、七五・二元			三七
昭 和 四 年							三、二〇・六			元
昭 和 五 年							一、五四・四〇			二五
計							七、四九・三三			100

第三節 假本整理

本地區に於ける假本整理工事は件數四十三件整理費一萬七千八百七十二圓三十七錢全部市負擔にして昭和二年七月十五日東京電燈株式會社關係工作物の整理に著手したるを最初とし、それより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局二件金額六千四百四十九圓八十六錢、市電氣局十二件金額七百九十九圓六十一錢、東京電燈株式會社二十七件金額七千九百四十一圓五十六錢、東京瓦斯株式會社二件金額二千六百八十一圓三十四錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

種 別	水 道		市 電		東 電		瓦 斯		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
電 柱	—	—	七本	七四・九三	一七本	七、八四・二元	—	—	二五本	八、五六・三

年	度	市	負	擔	歩	合	%
昭	和			10,011			一
昭	和			八,〇七三・六四			四
昭	和			九,七八・七〇			五
計	五			一七,八七三・三七			一〇〇

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事に關する申請書の受付は昭和二年三月十日より之を開始し、同年十月十五日迄に全部の受付を了せり、而して工事は昭和二年四月十五日之に著手し、それより順次建物移轉の進捗に伴ひ各種工作物の整理を爲し、同三年十一月十日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件數は八千七百五十三件金額十一萬九百二十六圓七十二錢にして、之を事業別に見るときは水道千八百九十七件金額四萬七千七百八十五圓四十三錢、市電六百九十八件金額三千六百八十一圓二十五錢、東電四千七百二十五件金額二萬八千八百二十二圓五十錢、瓦斯千四百三十三件金額三萬六百三十七圓五十四錢なり、尙建物一棟當りの裝置數を見るに水道〇・三五栓、電燈三・〇一燈、瓦斯〇・二七個計量器數なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

成を了し、市土木局に引継を爲せり。

本地區に於ては昭和二年六月二十一日市水道局に一括承認を爲したるを最初としそれより逐次各事業者に許可又は承認を爲したり、而して右に對する分割許可又は承認は同年六月三十日東京電燈株式會社に許可せるを最初とし、それより逐次各事業者に許可又は承認を爲し、同四年十二月二十一日東京電燈

株式會社に許可せるを最終とし要求工事八百九十九件、非要求工事二千四百五件の許可又は承認を爲したり、其の狀況を示せば左の如し。

事業者	一括占用許可 承認年月日	分割許可		承認		
		最初年月日	最終年月日	要求工事 件	非要求工事 件	
市水道局	昭和二、六、三	昭和二、七、九	昭和四、一、三	四二	六七〇	一、〇八一
市電氣局	昭和二、六、三〇	昭和二、七、四	昭和四、二、二	一七	一六	三三
東京電燈株式會社	昭和二、六、五	昭和二、六、三〇	昭和四、三、三	三	三	六
東京瓦斯株式會社	昭和二、六、五	昭和二、九、二	昭和四、一〇、一六	一、六七	一	二、〇九〇
警視廳	昭和二、六、五	昭和四、一、二	昭和四、三、〇	五	一	五

第一 要求工事

本地區に於ける要求工事は八百九十九件其の延長一萬七千五百八十八間五七二、掘鑿面坪五千五百五十九坪四六五にして、之を事業者別に見るときは市水道局四百一十一件其の延長五千六百十七間〇四六、掘鑿面坪千八百五十九坪六〇二、市電氣局十七件其の延長六百二十間四七二、掘鑿面坪二百三坪二一九東京電燈株式會社七十三件其の延長千二百五十三間六、掘鑿面坪五百七十七坪一六四、東京瓦斯株式會社三百九十三件其の延長一萬九千七百四十四、掘鑿面坪二千九百十九坪四八、警視廳五件なり、尙之を類別すれば大掘鑿百五十一件其の延長一萬六千二百二十九間〇七二、掘鑿面坪五千二百一十一坪九二七、小掘鑿七百四十八件其の延長千三百五十九間五、掘鑿面坪四百三十七坪五三八なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

年	度	大 掘 鑿		小 掘 鑿		計	
		件數	延 長	件數	延 長	延 長	掘鑿面坪
昭和二年	市水道局	二	一四・六〇〇	一七	三〇七・八三三	一九	三三三・四三三
		二	五・七八〇	一	一〇四・二五	三	一〇九・九三六
	市電氣局	三	一六四・八〇〇	一	—	三	一六四・八〇〇
		三	五・〇五七	—	—	三	五・〇五七
	東京電燈株式會社	三	九一・〇〇〇	—	—	三	九一・〇〇〇
		三	四七・九四	—	—	三	四七・九四
	東京瓦斯株式會社	二	二〇・〇〇〇	—	—	二	二〇・〇〇〇
		二	二八・五〇〇	—	—	二	二八・五〇〇
	計	一九	三九〇・五〇〇	四四	六四〇・四九	四三	一,〇〇四・九九
		二	四八・七一五	—	—	二	四八・七一五
昭和三年	市水道局	二	一,四四・三〇〇	—	—	二	一,四四・三〇〇
		二	二〇・〇〇〇	—	—	二	二〇・〇〇〇
	市電氣局	九	三五八・三五〇	—	—	九	三五八・三五〇
		九	二〇・一七〇	—	—	九	二〇・一七〇
	東京電燈株式會社	四七	八六四・五〇〇	—	—	四七	八六四・五〇〇
		四七	三八三・二四〇	—	—	四七	三八三・二四〇
	東京瓦斯株式會社	二〇	四,七〇九・九〇一	一四	一,五八三	二四	四,八四五・七五三
		二〇	三六六・四九七	—	—	二〇	三六六・四九七
	計	八七	七,三四七・〇七二	一四	一,五八三	一九一	七,四八二・九三三
		二	二,三五六・六三	—	—	二	二,三五六・六三
昭和四年	市水道局	二	三,三三三・四八〇	二五	五五七・八三三	二七	三,八八〇・三三三
		二	一〇七・二五七	—	—	二	一〇七・二五七
	市電氣局	五	九七・三三二	—	—	五	九七・三三二
		五	三・九九二	—	—	五	三・九九二
	東京電燈株式會社	一四	二九六・〇〇〇	—	—	一四	二九六・〇〇〇
		一四	一四六・〇〇〇	—	—	一四	一四六・〇〇〇
	東京瓦斯株式會社	九	四,七七三・七〇一	二五	五・三三五	三四	四,八五〇・〇三三
		九	三六・七九五	—	—	九	三六・七九五
	計	四五	八,四九一・五〇二	二四〇	六〇九・一六	二八五	九,一〇〇・六七〇
		五	—	—	—	五	—
市水道局	二五	四,七五一・三八〇	三六	八六五・六六六	四一	五,六二七・〇四六	
	二五	一,五九・七五二	—	—	二五	一,五九・七五二	

警視廳	市水道局	計
五	四	五
八、四九一、五〇二、六三三、〇四四	四、七五二、三八〇一、五九七、七五二	一三、二四三、八八三、二〇四
二四〇	三六六	六〇六、六六六
二〇〇、六三〇	二八五	四八五、八五〇
九、一〇〇、六三〇、八三三、六七四	五、六七〇、四六一、八五九、六〇二	一四、七七一、〇七一、六八二、二七六

合 計	市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		警視廳	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
計	二七	六〇、四七二	二〇三、二九	一、一五三、六〇〇	五七七、一六四	三、九六三、六〇二、七七一、七九二	三	一、〇九七、四五四二、九九、四八〇
昭和三年度	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇
昭和四年度	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇
昭和五年度	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇

前記要求工事八百九十九件の内道路後修を要したるもの五百七十八件金額一萬三千四百四十三圓五十錢ありたり、其の支拂狀況を示せば左の如し。

事業 者	昭和三年度			昭和四年度			昭和五年度			計	
	件數	金額	歩合%	件數	金額	歩合%	件數	金額	歩合%	件數	金額
市水道局	三	五五、八〇	八二〇三	一、五九、〇九	二	四、八五、〇四	二七五	六、九七、三三			
市電氣局	一	一	二	八七、六	九	一、五	四	八九、四			
東京電燈株式會社	三	二七、七	三一四	三五、三	四	四、五、一〇	三〇	八六、九			
東京瓦斯株式會社	二〇二	四八、四〇	九	一四、六、六	三	四、六七、九九	二六九	五、五七、七五			
計	二六	一、〇二、七	八二七七	二、一三九、一〇	一六	一〇、一〇〇、七一	五八	一三、一四三、五〇			

第二 非要求工事

本地區に於ける非要求工事は二千四百五件其の延長一萬二千四百九十五間〇七九、掘鑿面坪四千二百八十二坪八八九にして、之を事業者別に見るときは市水道局六百七十件其の延長四千八百五十六間一五

第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

二掘鑿面坪千六百三十四坪〇八五、市電氣局十六件其の延長千六百十五間七三八、掘鑿面坪五百三十四坪五三六、東京電燈株式會社二十二件其の延長二百七十六間七、掘鑿面坪百三十一坪八四、東京瓦斯株式會社千六百九十七件其の延長五千七百四十六間四八九、掘鑿面坪千九百八十二坪四二八なり、尙之を類別すれば大掘鑿七十七件其の延長七千八百六十一間二五八、掘鑿面坪二千八百五十七坪五八八、小掘鑿二千三百二十八件其の延長四千六百三十三間八二一、掘鑿面坪千四百二十五坪三〇一なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

年	度	大掘鑿		小掘鑿		計	
		件數	延長	掘鑿面坪	件數	延長	掘鑿面坪
昭和二年	市水道局	1	開	1	二三	23	七・二〇四
	東京電燈株式會社	4	一一・八〇〇	1	一	4	五・九〇〇
昭和二年	計	5	三六・〇〇〇	18	二八・〇一六	23	四二・〇〇〇
	市水道局	3	四七・八〇〇	2	四四・八三三	5	九二・六三三
昭和三年	市水道局	3	三一・三〇〇七〇	2	五〇・〇〇〇	5	八一・三〇〇七〇
	市電氣局	7	六九・六〇〇	1	一	8	六九・六〇〇
昭和三年	東京電燈株式會社	9	二七・四五〇	1	一	10	二七・四五〇
	東京瓦斯株式會社	8	三三・五〇〇	1	九	42	三三・五〇〇
昭和三年	計	27	一〇一・二五〇	13	二〇・八九三	40	一二二・一四三
	市水道局	10	二二・五二六〇	2	四八・一六六	12	六〇・六九二

東京瓦斯株式會社	八	三三三・五〇〇	八五・六五〇	九五〇二、〇八九・八三三	六六・九五〇	九六八	二、四三三・三三三	七三・六〇〇
計	二七二、三〇一・二六〇	七四〇・〇四七	一、三三七・二、六九八・八三三	八三・六二二、二六四	二、四三三・三三三	四、九八〇・九三三	五九五・六八	
市水道局	一〇二、二五二・六〇〇	七四七・七四〇	二五七	四九八・一六六	一六六・六五八	二六七	二、七五〇・七九六	九四・三九八

合計	昭和四年		
	市電氣局	市水道局	市電氣局
東京瓦斯株式會社	九	九六六・二六	三四・四九一
東京電燈株式會社	九	二二七・四五〇	九四・四二〇
計	一七二、〇六・〇〇〇	九〇二・〇〇〇	一四〇
市水道局	四三、五三・二九二	〇六八・四六一	七七一、四九一・二五
市電氣局	一三三、五三・三〇一	一、一九四・五六一	六七一、三〇二・八三三
東京電燈株式會社	一六二、六五・七六	五三四・五六	—
東京瓦斯株式會社	二二	二七六・七〇〇	一三二・八四〇
計	二六二、四五・五〇〇	九六六・六五〇	一、七三三、三三〇・九九九
合計	七七七、八二・二五二	三、八七五・八八二	三、三八四、六三三・八二二
市水道局	四三、五三・二九二	〇六八・四六一	七七一、四九一・二五
市電氣局	一三三、五三・三〇一	一、一九四・五六一	六七一、三〇二・八三三
東京電燈株式會社	一六二、六五・七六	五三四・五六	—
東京瓦斯株式會社	二二	二七六・七〇〇	一三二・八四〇
計	二六二、四五・五〇〇	九六六・六五〇	一、七三三、三三〇・九九九
合計	七七七、八二・二五二	三、八七五・八八二	三、三八四、六三三・八二二
市水道局	四三、五三・二九二	〇六八・四六一	七七一、四九一・二五
市電氣局	一三三、五三・三〇一	一、一九四・五六一	六七一、三〇二・八三三
東京電燈株式會社	一六二、六五・七六	五三四・五六	—
東京瓦斯株式會社	二二	二七六・七〇〇	一三二・八四〇
計	二六二、四五・五〇〇	九六六・六五〇	一、七三三、三三〇・九九九
合計	七七七、八二・二五二	三、八七五・八八二	三、三八四、六三三・八二二

第三 道路臺帳

道路臺帳は昭和五年三月三十一日之が作成を了し市土木局に引繼を爲せり、其の臺帳記入工作物は電柱六百十九本、管線路二萬八千八百八十間〇三にして、之を類別すれば新設せるもの電柱四百十三本、管線路一萬七千七十七間一三九、撤去せるもの電柱二百六本、管線路六千六百四十二間三九一、埋殺せるもの四千五百二十間五なり、其の事業別數量を示せば左の如し。

種別	新設		撤去		埋殺	計
	間	本	間	本		
水道	七、四〇八・〇七	—	八九六・六三三	—	五七九・〇〇〇	八、八八三・七〇〇

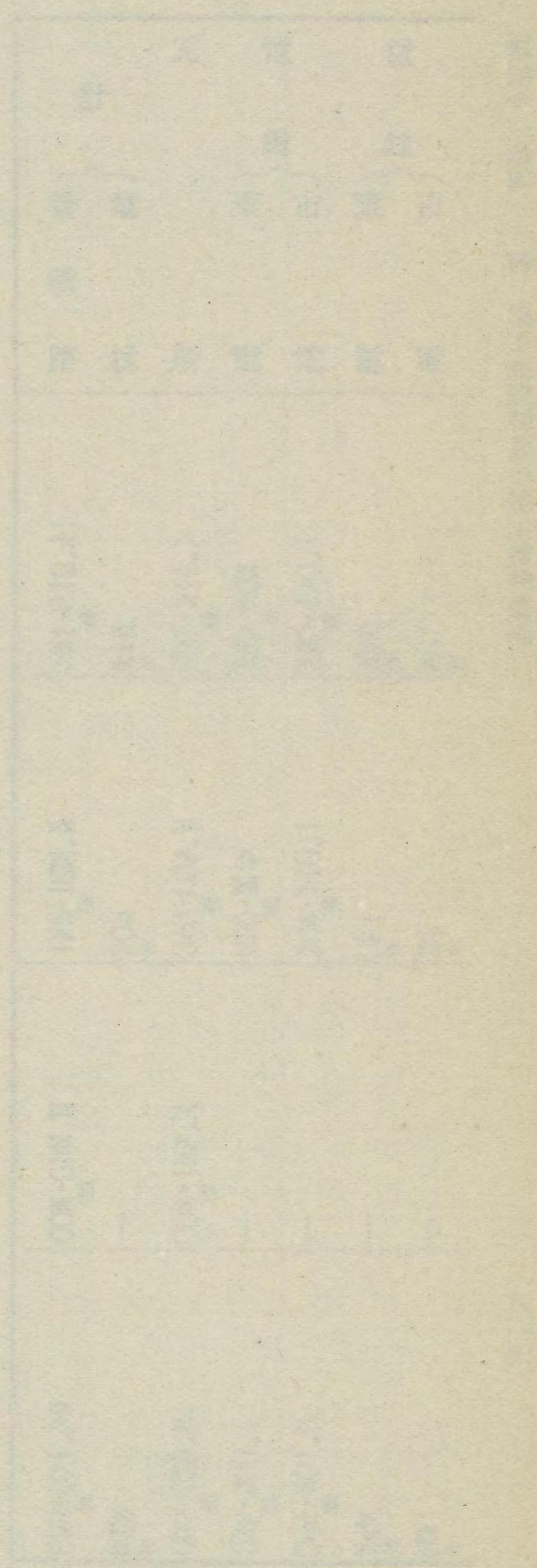
第四十一地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

計	電 柱		電 纜		瓦 管	
	東 市	東 市	東 市	東 市	東 市	東 市
線	電	電	電	電	路	柱
一七、〇七・三九	一、〇八七・〇四	三、八四	八、一六・一五〇	四、〇五・八七	一、〇八七・〇四	一、〇八七・〇四
	元本	三本	四三本	四三本	元本	元本
六、〇三・三九	一、〇八七・七三	一、九二	三、九〇二・九七〇	八、四〇・〇六二	一、〇八七・七三	一、〇八七・七三
	一四本	一本	二〇本	二〇本	一四本	一四本
四、五三〇・五〇			三、九四二・五〇〇			
			間			
二八、一〇・〇三	二、一〇五・七〇	五、七	一五、九六〇・六二〇	一、二九・九四〇	二、一〇五・七〇	二、一〇五・七〇
	四三本	五本	六九本	六九本	四三本	四三本

第四十二地區

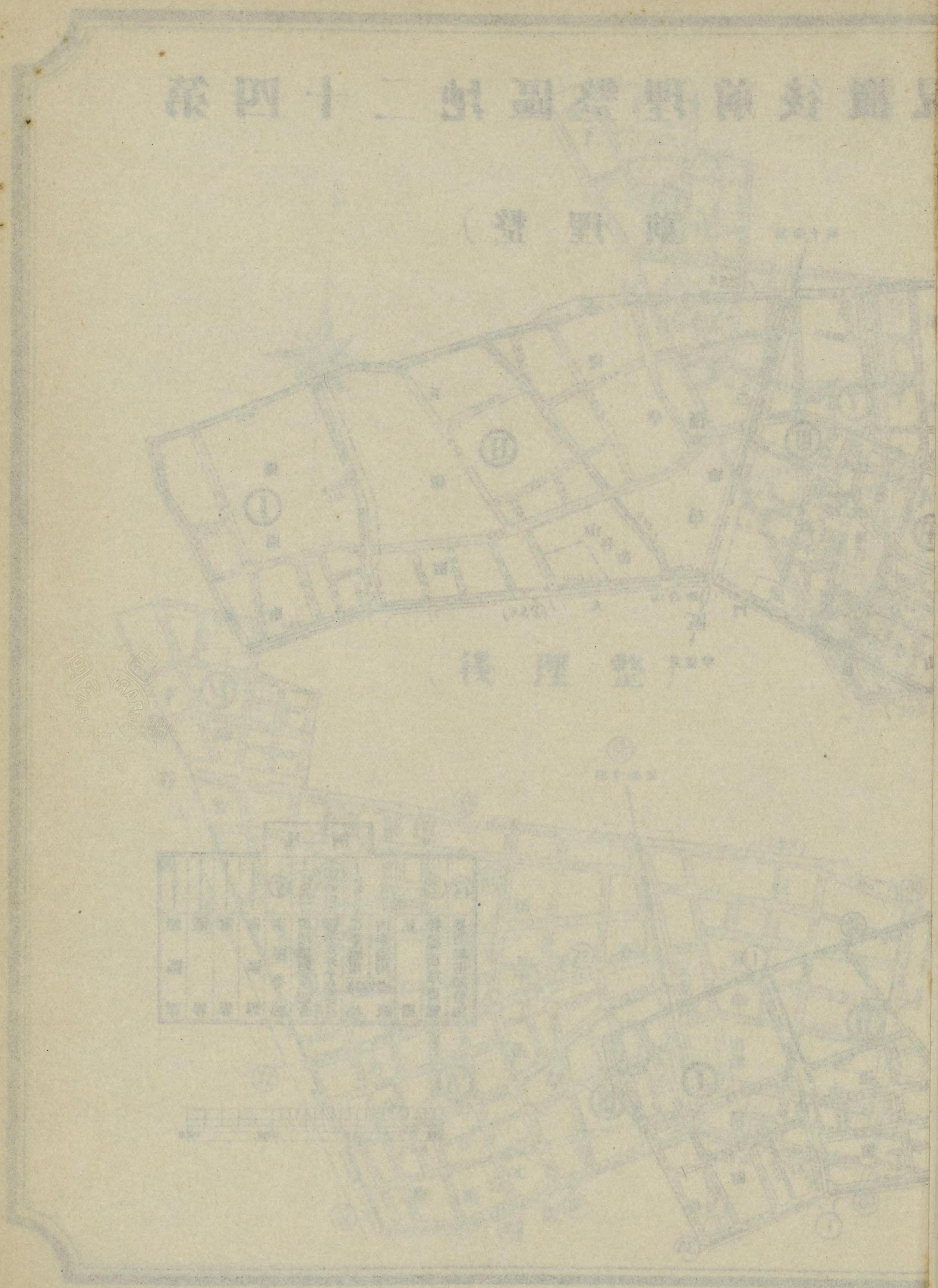
項目	說明	單位
第一項	第一項	第一項
第二項	第二項	第二項
第三項	第三項	第三項
第四項	第四項	第四項
第五項	第五項	第五項
第六項	第六項	第六項
第七項	第七項	第七項
第八項	第八項	第八項
第九項	第九項	第九項
第十項	第十項	第十項
第十一項	第十一項	第十一項
第十二項	第十二項	第十二項
第十三項	第十三項	第十三項
第十四項	第十四項	第十四項
第十五項	第十五項	第十五項
第十六項	第十六項	第十六項
第十七項	第十七項	第十七項
第十八項	第十八項	第十八項
第十九項	第十九項	第十九項
第二十項	第二十項	第二十項
第二十一項	第二十一項	第二十一項
第二十二項	第二十二項	第二十二項
第二十三項	第二十三項	第二十三項
第二十四項	第二十四項	第二十四項
第二十五項	第二十五項	第二十五項
第二十六項	第二十六項	第二十六項
第二十七項	第二十七項	第二十七項
第二十八項	第二十八項	第二十八項
第二十九項	第二十九項	第二十九項
第三十項	第三十項	第三十項
第三十一項	第三十一項	第三十一項
第三十二項	第三十二項	第三十二項
第三十三項	第三十三項	第三十三項
第三十四項	第三十四項	第三十四項
第三十五項	第三十五項	第三十五項
第三十六項	第三十六項	第三十六項
第三十七項	第三十七項	第三十七項
第三十八項	第三十八項	第三十八項
第三十九項	第三十九項	第三十九項
第四十項	第四十項	第四十項
第四十一項	第四十一項	第四十一項
第四十二項	第四十二項	第四十二項

樂四十二戲圖



第 四 十 二 號 圖 說 野 戰 陣 地 圖

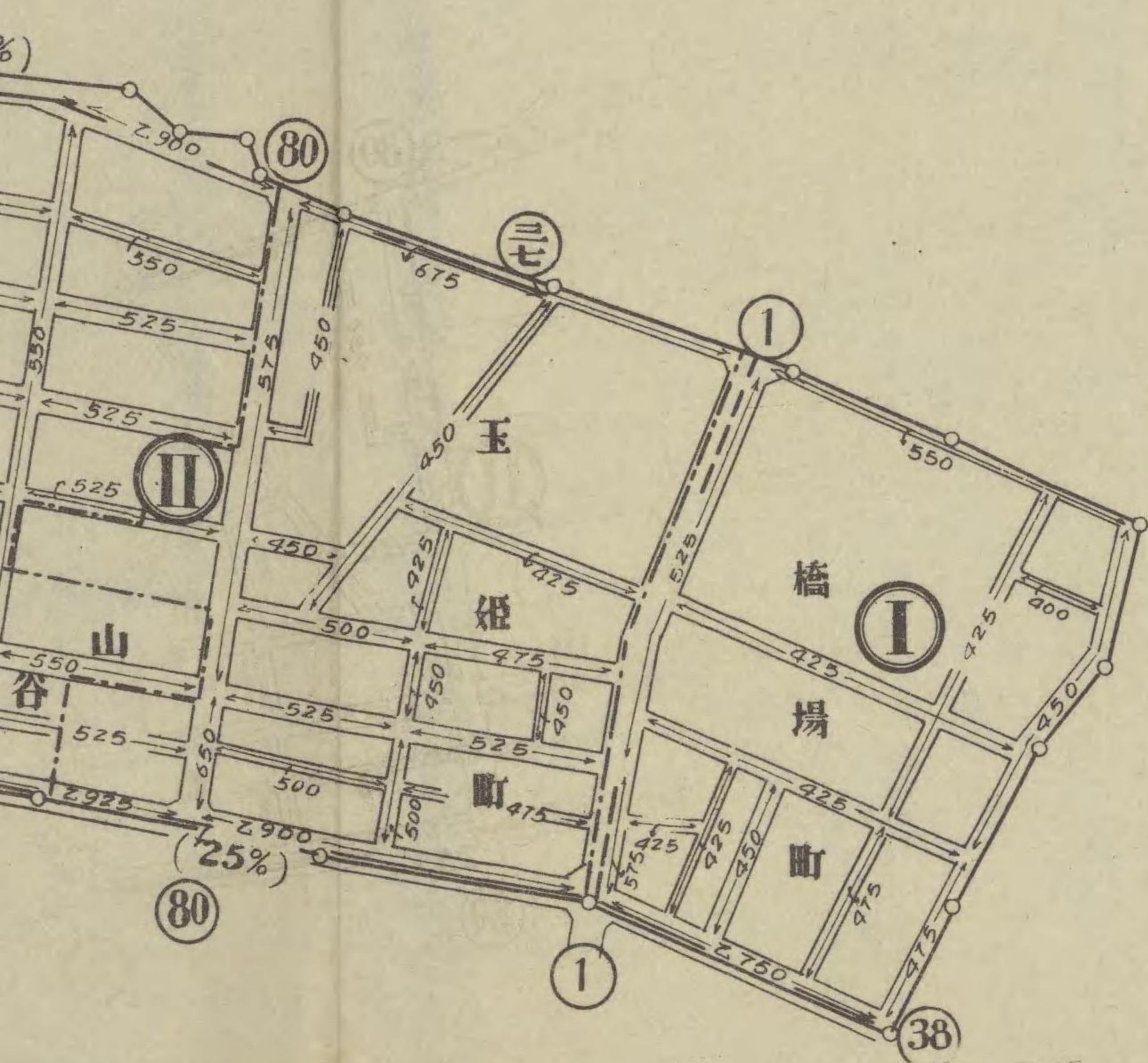
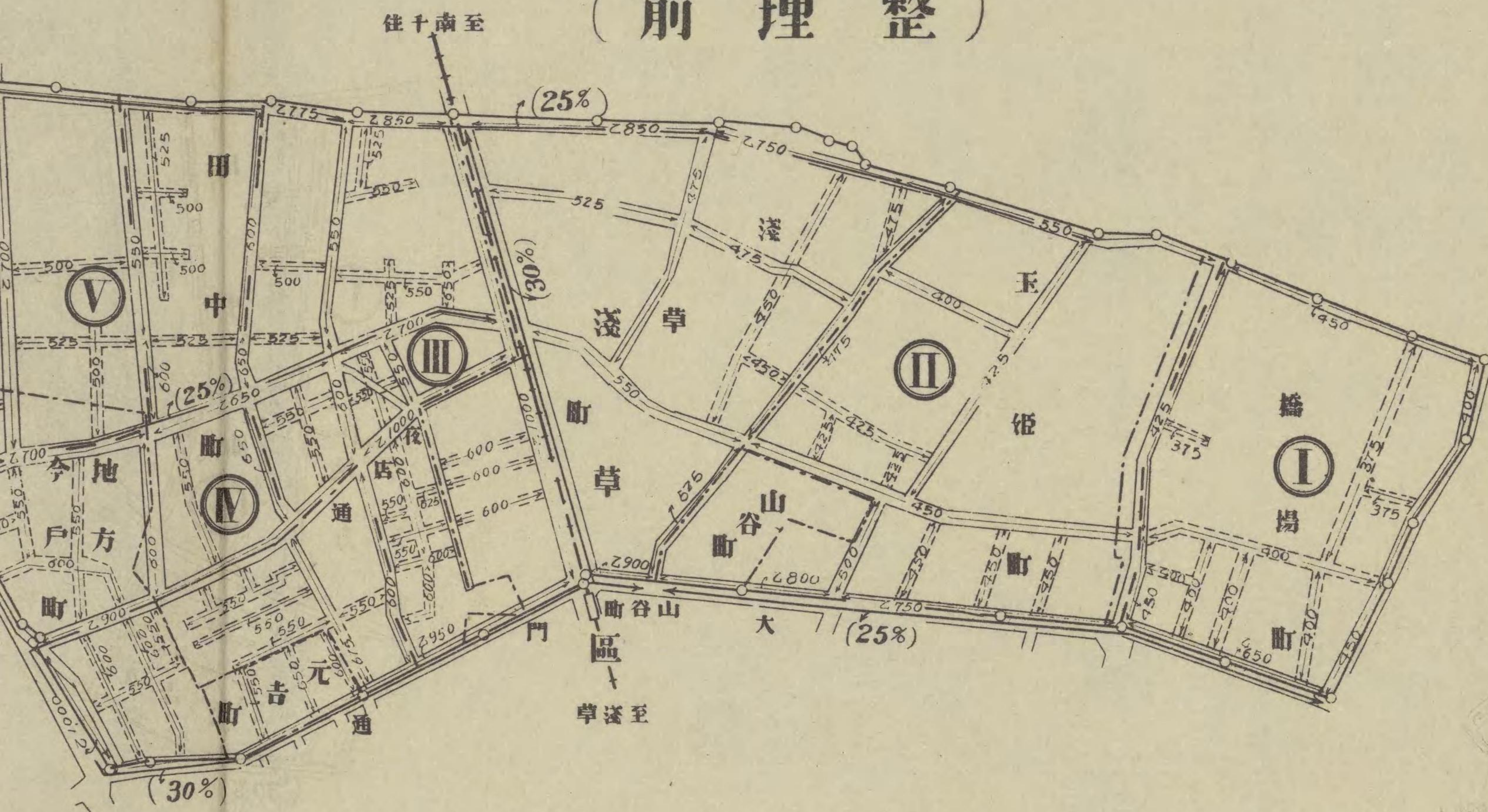
(野 戰 陣 地)



(後 陣 地)

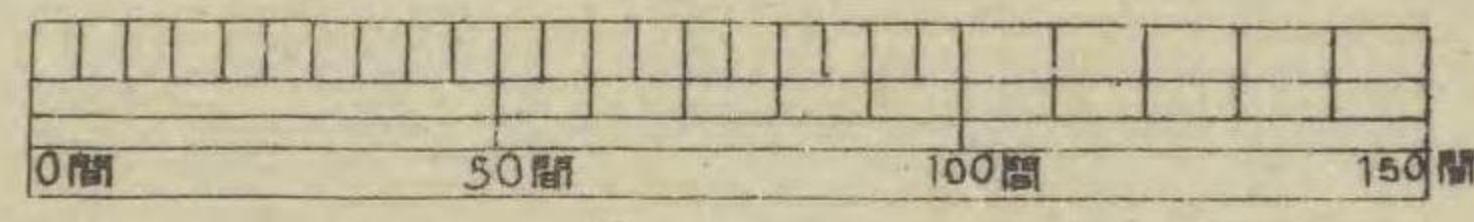
第四十二區整理前後概況圖

(前 理 整)



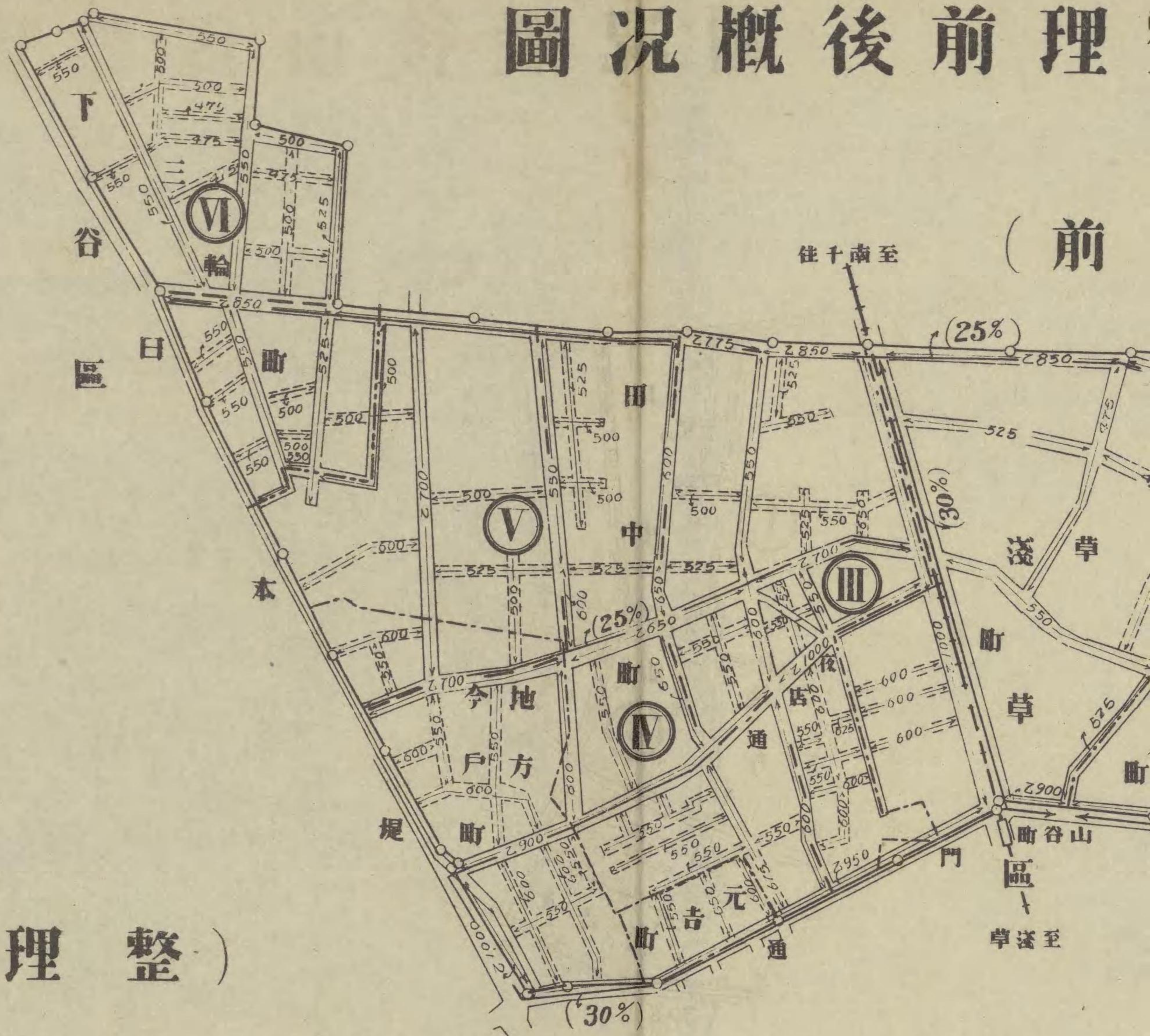
例 凡

(72)	(三)	—	(25%)	(30%)	(V)	—	—	—	—
補助線街路番號	幹線街路番號	私道	丙率適用價線指數	乙率適用價線指數	圖示以外全部(20%)	借地權利價割合	街區番號	街區界	町區界
			500	0067					

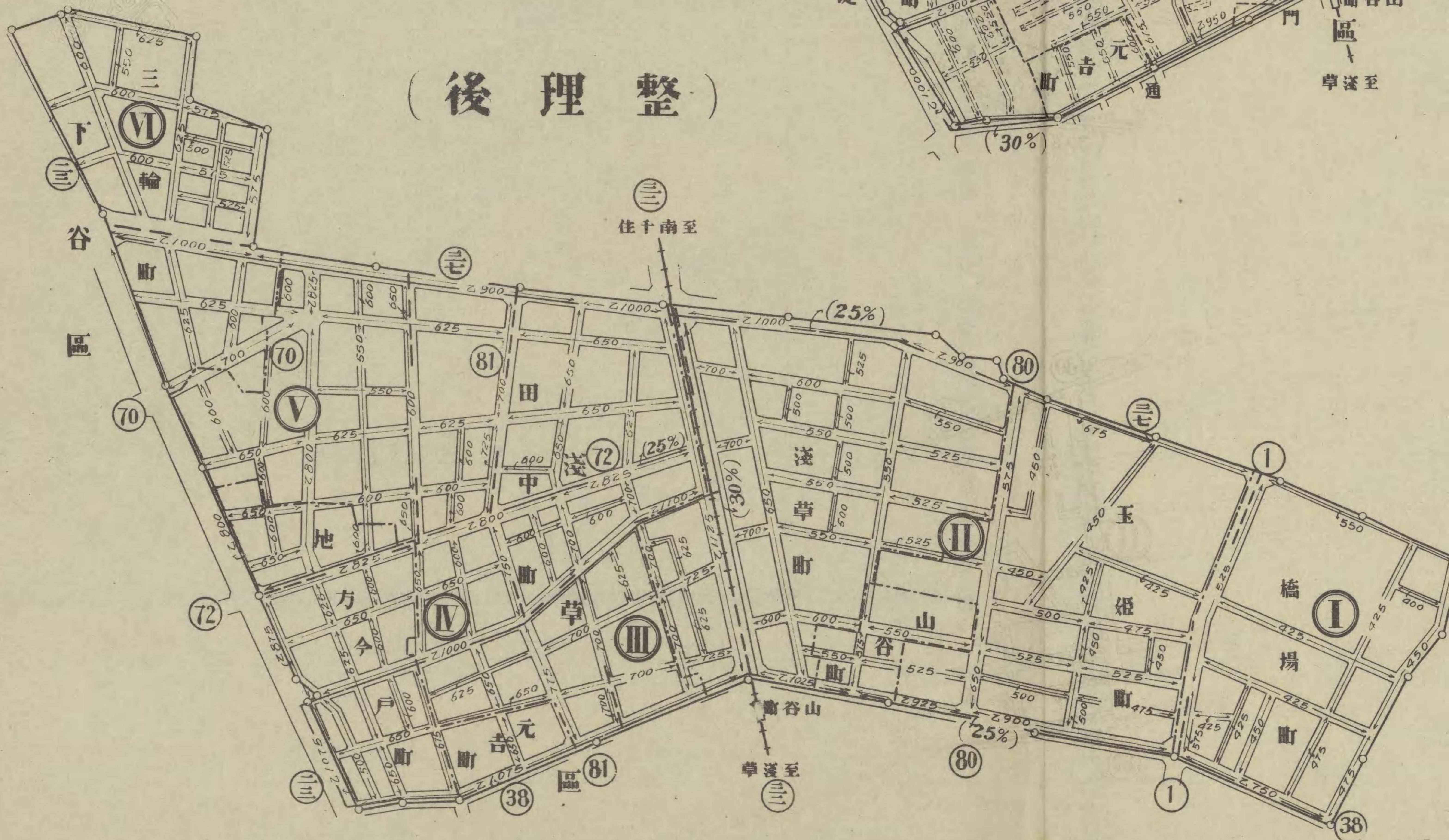


圖况概後前理

(前)



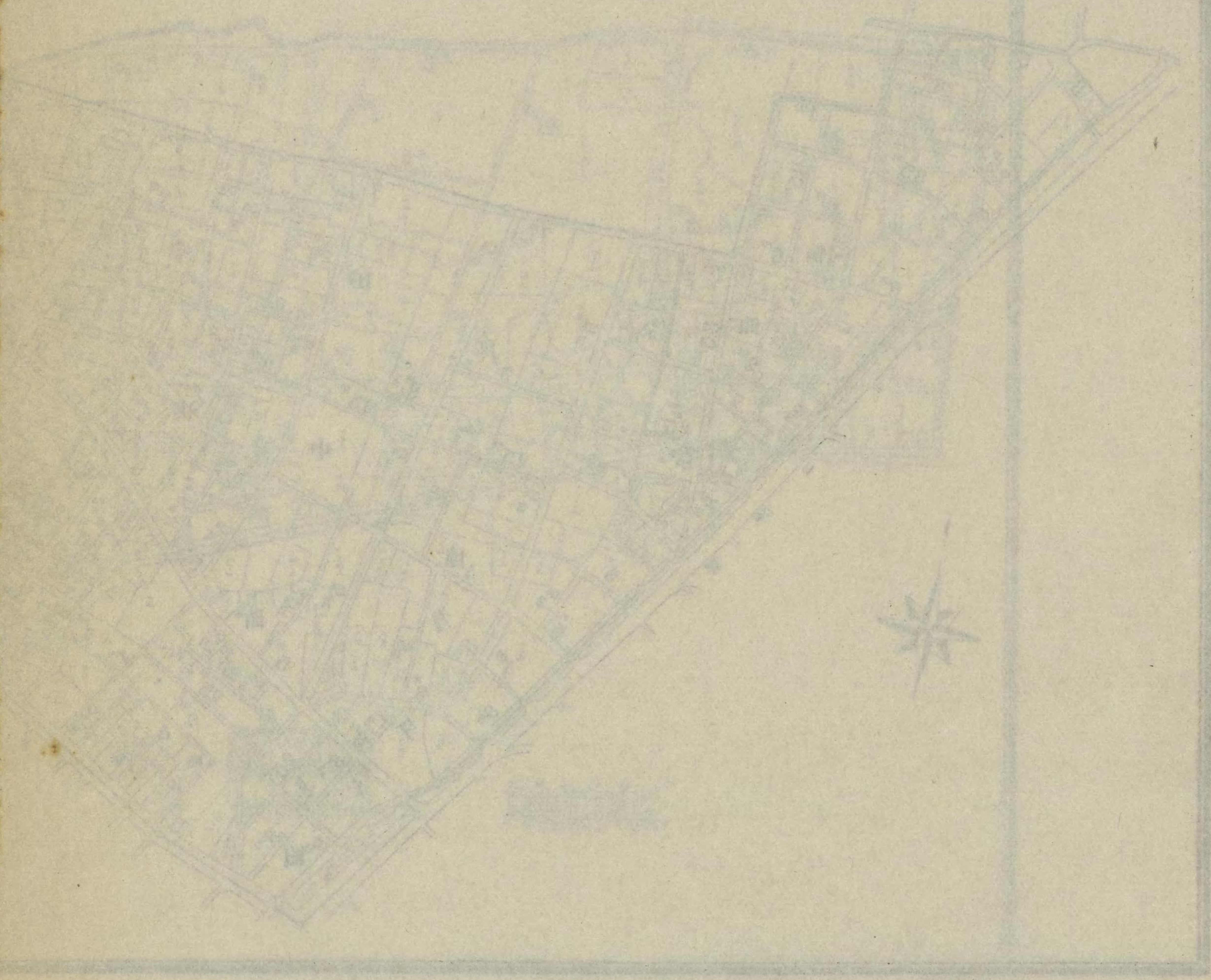
(後理整)



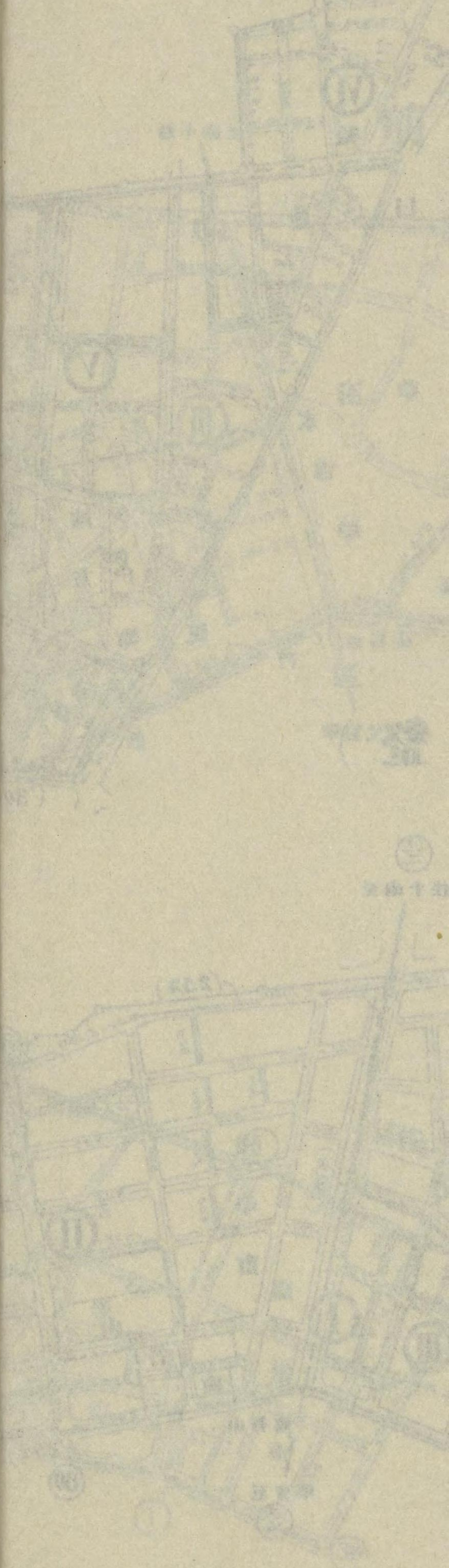
圖說後埔墾務區地二十四第



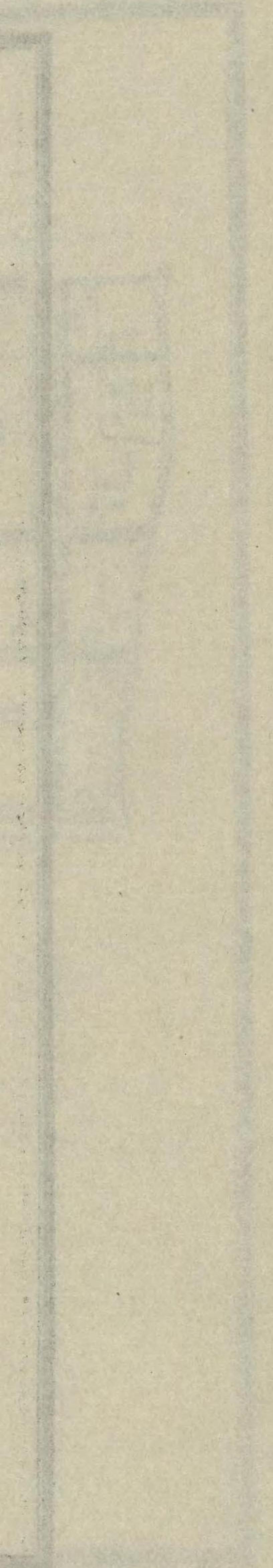
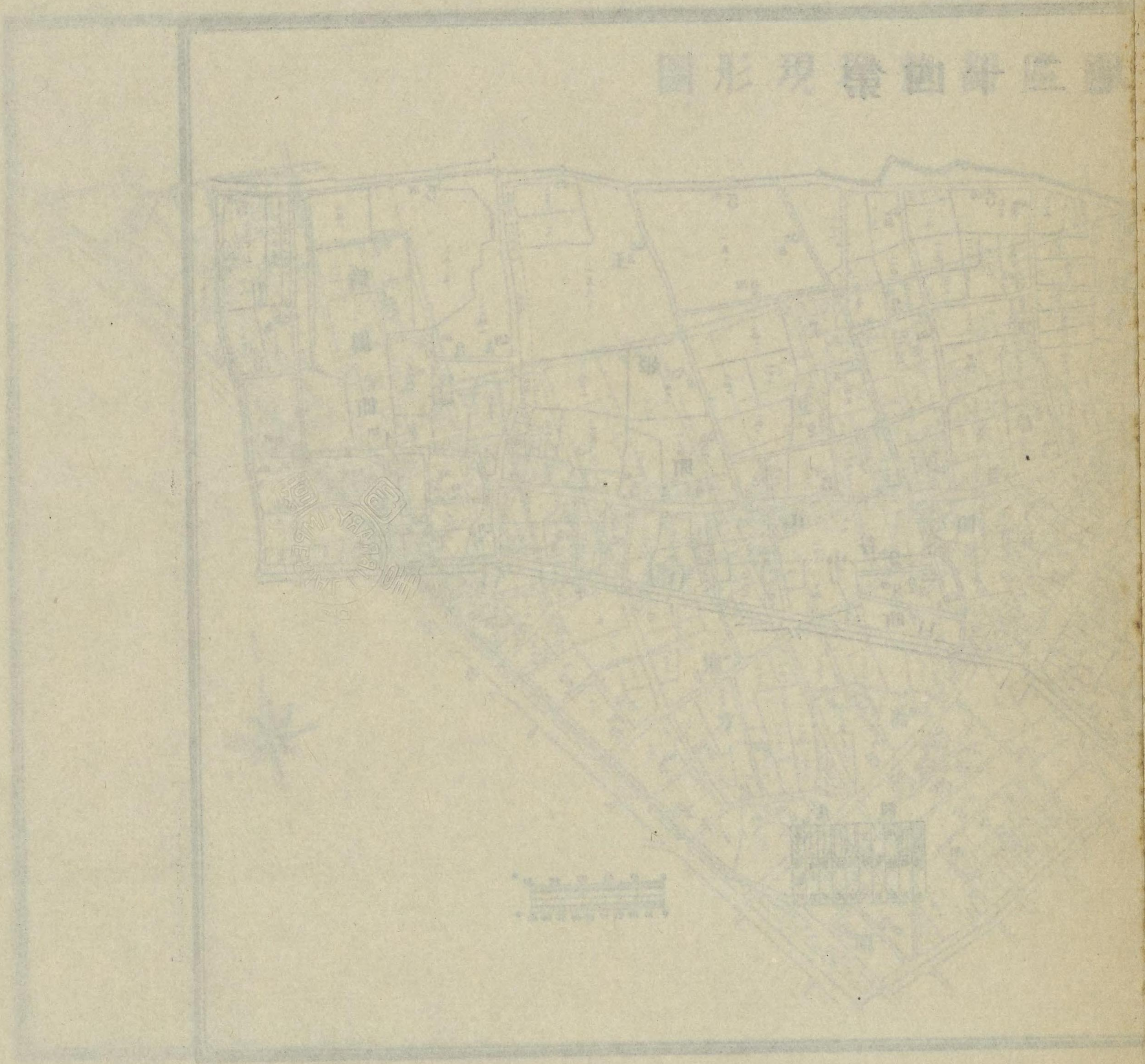
圖說城隍廟與法園



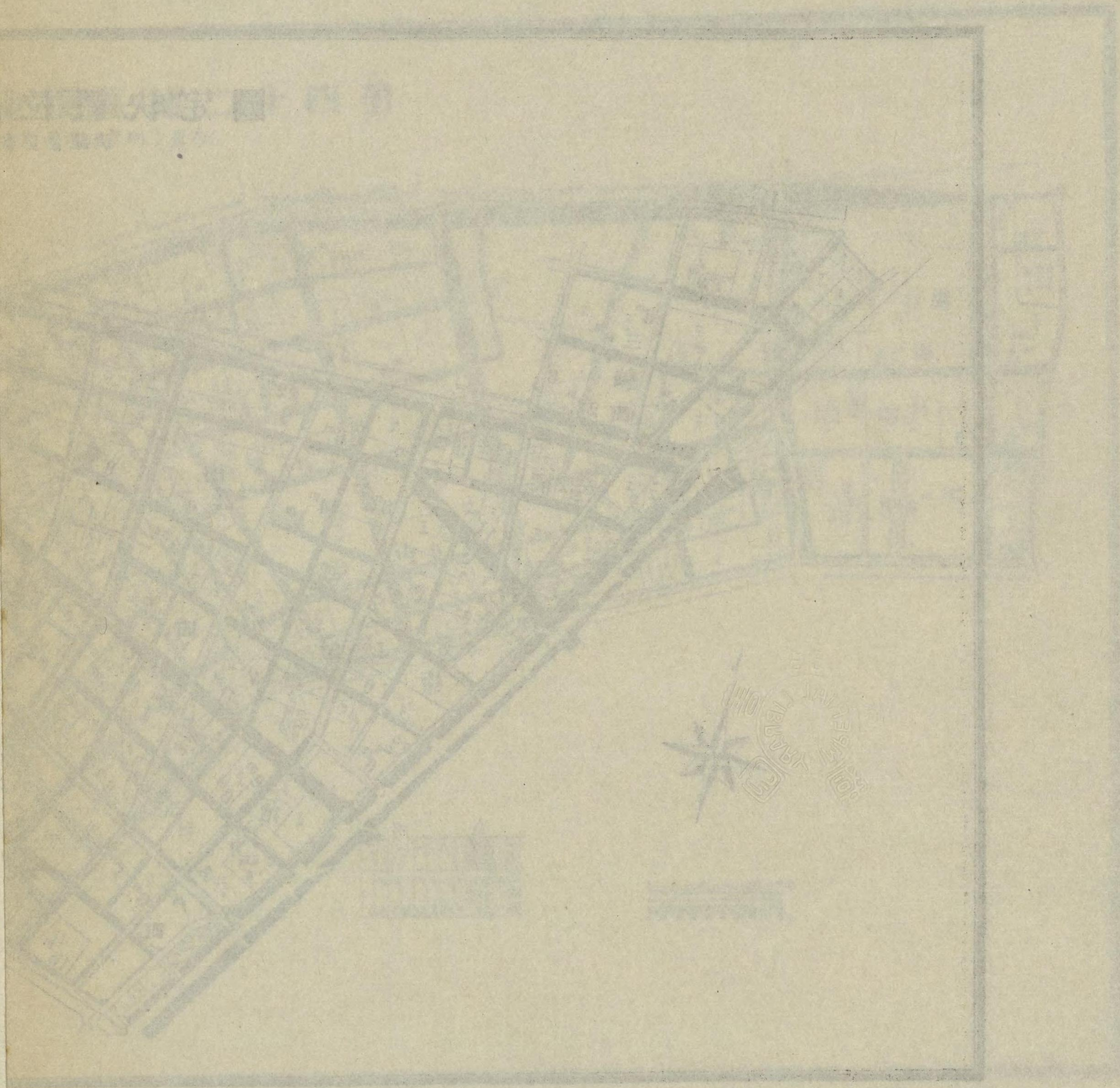
圖說法園



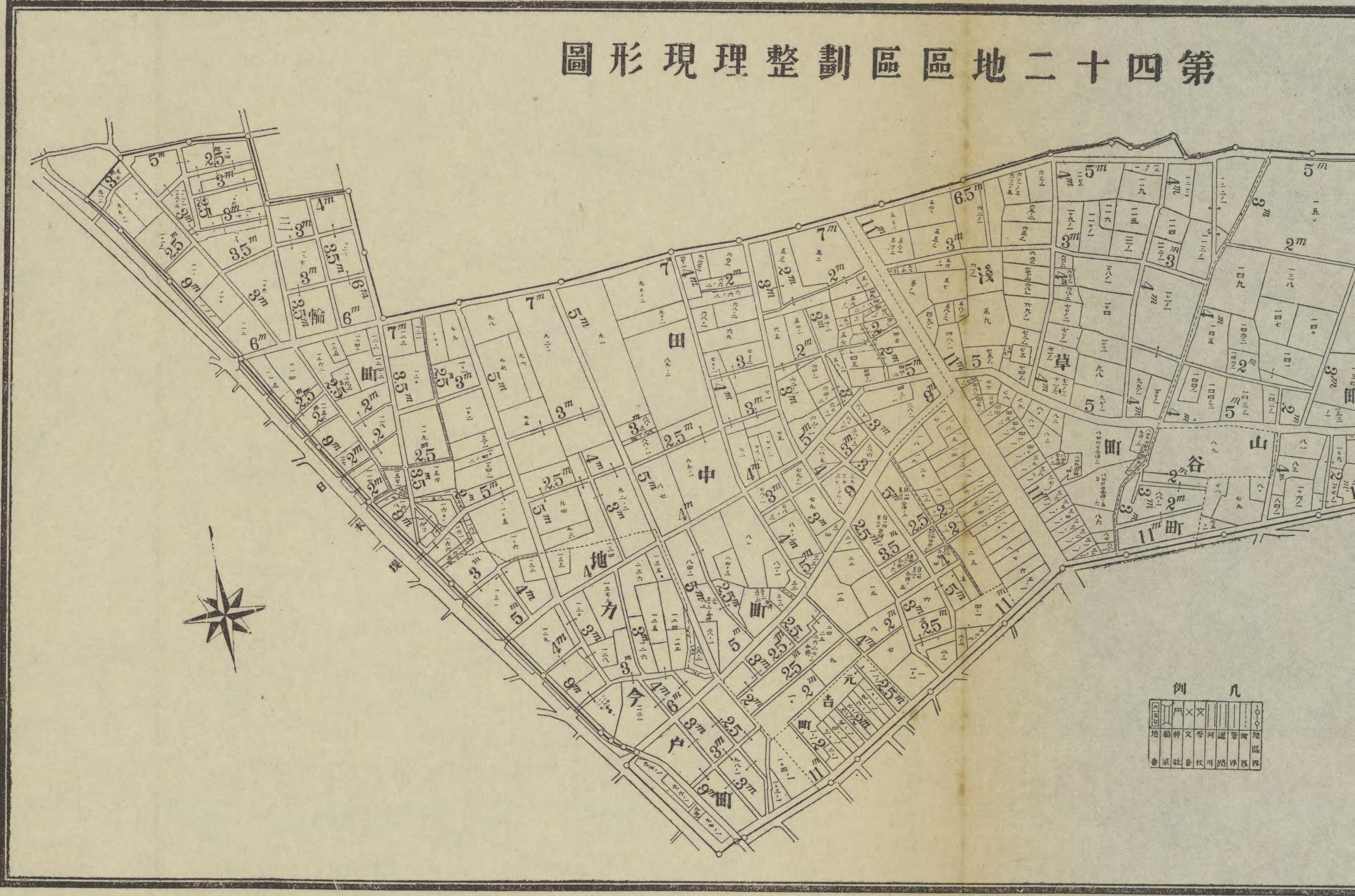
圖形現樂西平區



第四十二地區
整理前地區の概況

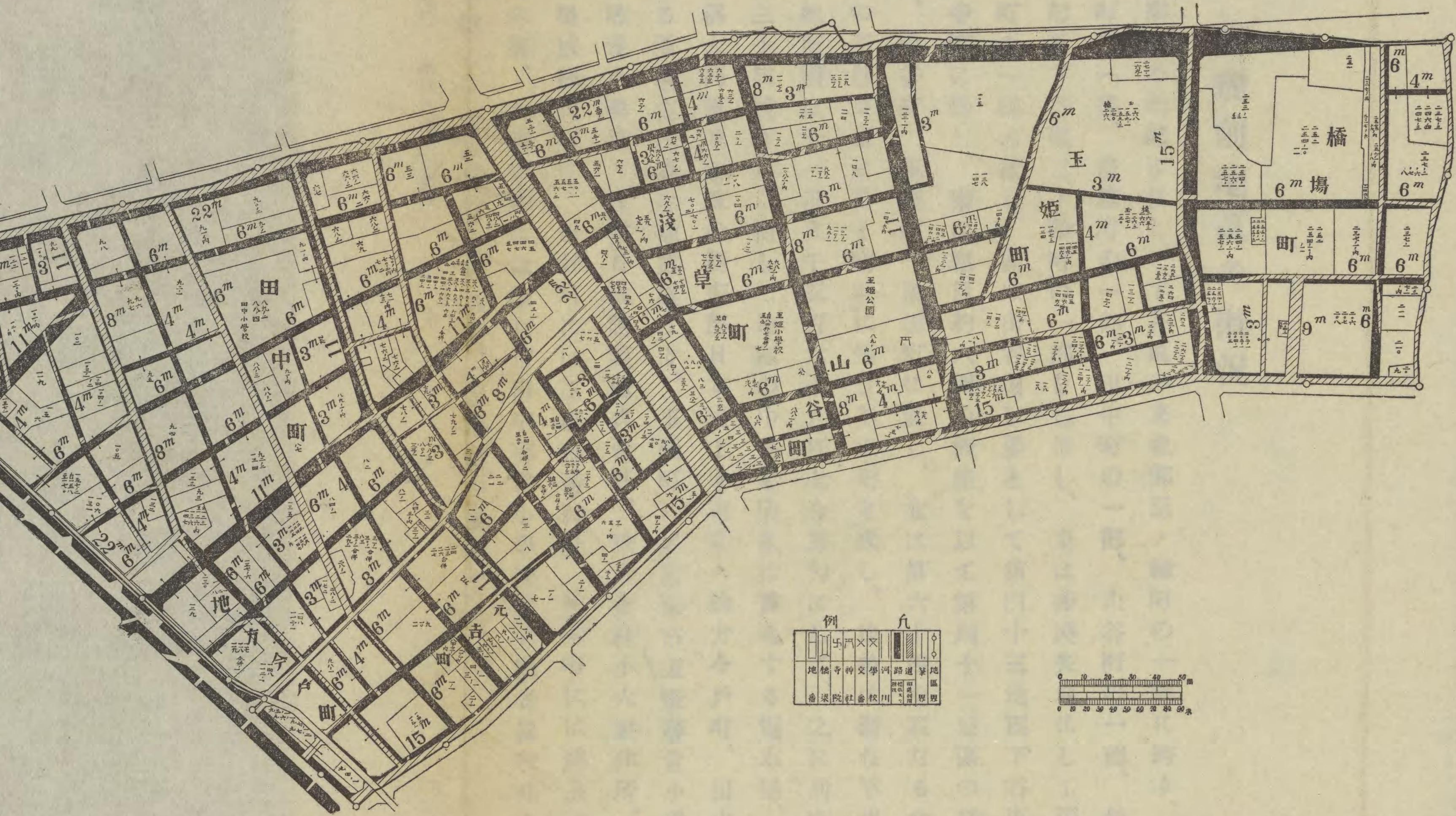


圖形現理整劃區區地二十四第



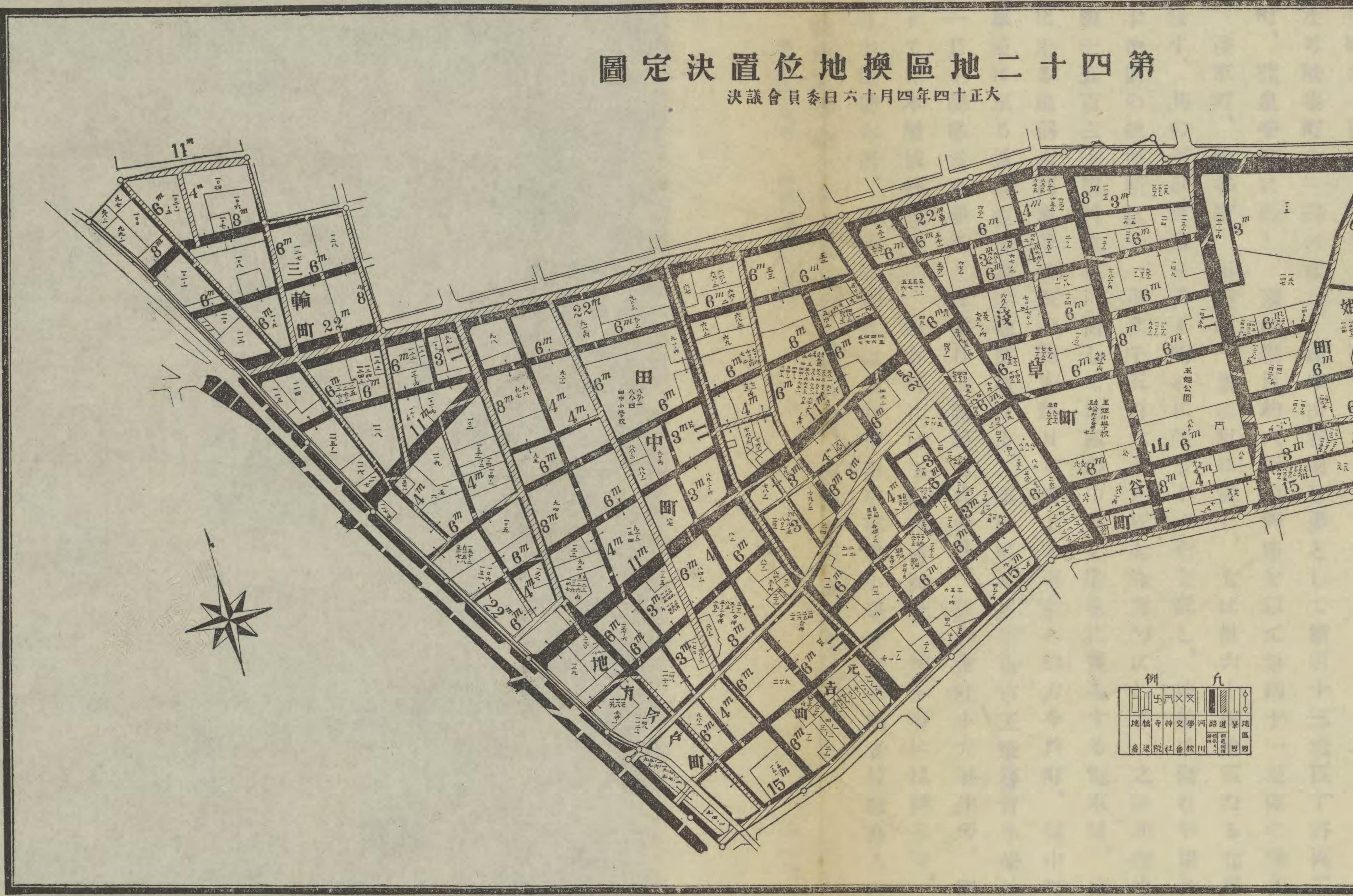
圖定決置位地換區地二十四第

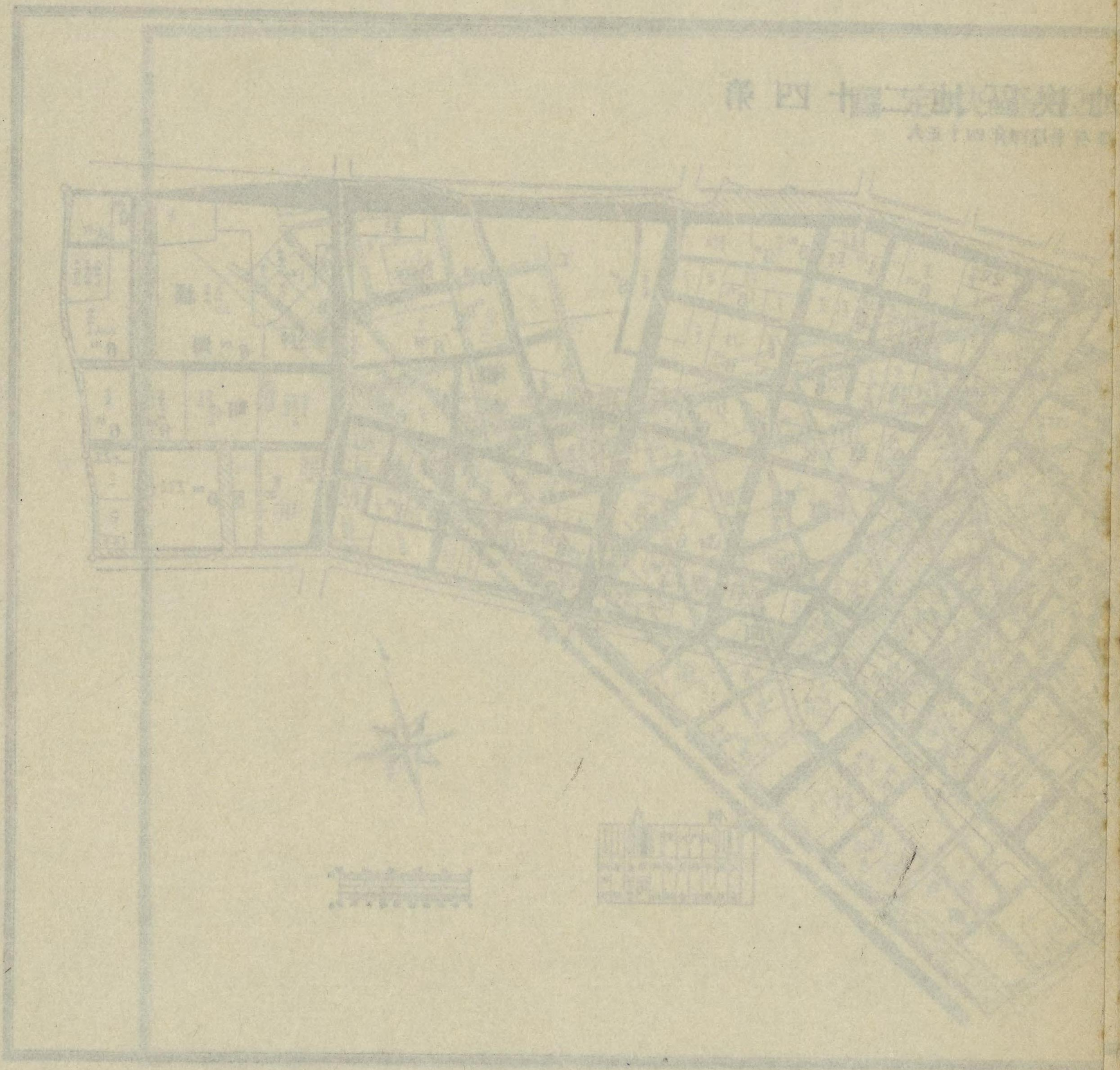
決議會員委日六十月四年四十大



第四十二區地換地位置決定圖

大正十四年四月十六日委員會議決





整理前地區の概況

本地區は淺草區の北部に位し、下谷區の東北部三ノ輪町の一部に跨り、淺草區橋場町の一部、玉姫町の一部、淺草町の一部、田中町の一部、山谷町の一部、地方今戸町の一部元吉町の一部及下谷區三ノ輪町の一部を包括し、東は非燒失地にして區劃整理施行區域外なる橋場町の一部に接し、西は山谷堀を界として第四十三地區下谷區三ノ輪町、金杉下町、龍泉寺町に對し、南は幅員約六間の街路を以て第四十一地區の地方今戸町、元吉町、淺草町、山谷町、玉姫町、橋場町に隣し、北は第六十四地區たる北豊島郡南千住町に接す、其の形狀東西に長く南北に短き不正形を成し、地勢は概ね平坦にして低濕なり、本地區の總面積は十一萬九千五百六十九坪七合五勺にして、之に所在する建物總棟數は四千五百三十四棟なり、而して地區の中央を南北に貫通する電車通、南部地區界を東西に走る通稱大門通及地區の西南部日本堤より東北へ地方今戸町、田中町を経て前記の電車通に至る通稱夜店通は商業盛なり、玉姫町には東京市玉姫尋常小學校(大正十四年四月一日正徳尋常小學校と改稱)日本護謨株式會社、株式會社小穴製作所、同町及橋場町に跨りて日本製絨株式會社、山谷町には玉姫稻荷神社、橋場町には總泉寺、地方今戸町には日本堤警察署、又田中町には東京市田中尋常小學校並労働者並行商人の簡易旅館あり、尙總泉寺内には平賀鳩溪の墓あり、假指定の史蹟なり。

甲 整地

第一章 土地區劃整理委員會

第一節 委員

第一 土地區劃整理委員及同補闕委員の選舉

第四十二地區土地區劃整理委員及同補闕委員の定數は各十八人にして、其の選舉を大正十三年六月十日淺草區淺草公園内傳法院に於て執行したるに、何れも左の適當選したり。

一 土地區劃整理委員

土地所有者の部

久保 和吉

丸山 磯市

玉川由太郎

日本護謨株式會社

日本染絨株式會社

吉島國太郎

鈴木榮一郎

小林芳太郎

大野 吉治

借地權者の部

小高 兼藏

杉山 傳平

野島 連平

増田 森吉

小林安太郎

安藤清兵衛

小宮山 半次郎

峯岸仁三郎

建部岩一郎

二 同上補闕委員

土地所有者の部

古久根嘉藏

長谷川由右衛門

柴崎直次郎

渡邊 洞水

小浪源太郎

土地所有者の音
古久根嘉藏
長谷川由右衛門
柴崎直次郎
渡邊洞水
小浪源太郎

借地権者の部
矢野留次
桶田永三郎
秋元松之助
福田金一郎

川崎末作
佐藤善吉
木村甚作
井上四郎
小野喜作
福田金次郎
株式小穴製作所
千葉雅太郎
島田丑三郎

第二 議長並副議長の選舉

大正十三年七月十八日東京市富士尋常小學校に招集したる第一回土地區劃整理委員會に於て、假議長小宮山半次郎、議長並副議長の選舉を執行したるに、左の適當選したり。

日本護謨株式會社代表出席者
議長 長 大 熊 仁 三 郎
副議長 小宮山半次郎

第三 土地區劃整理委員の異動

土地區劃整理委員は換地處分の結了に至るまで左の如く異動したり。

一 土地所有者選出委員吉島國太郎大正十四年三月三十日辭任したるに因り、同年四月一日同補闕委員古久根嘉藏補充せらる。

第二節 諮問及答申

一 諮問第一號 整理前土地面積決定期日に關する件

土地區劃整理換地配當の標準たる従前の土地面積は大正十四年二月二十日現在の土地臺帳面積に依らむとす、但し二月十日限東京市役所へ出願したる者にして訂正を受けたるときは其の面積に依るものとす。

右大正十三年十二月二十二日諮問 同日修正決議の上答申

第四十二地區 甲 整地

議事要綱

本件は審議の結果土地臺帳面積決定期日を大正十四年二月十日に、面積誤謬訂正出願期日を同年一月三十一日に修正決議せり。

二 諮問第二號 換地位置並區劃整理街路に関する件 (地區全部)

大正十三年十二月二十二日諮問 委員會三回 協議會三回 特別委員會三回開催
同十四年四月二十五日修正決議の上答申

三 諮問第三號 整理前路線價指數に関する件

大正十三年十二月二十二日諮問 委員會二回 協議會二回開催 同十四年四月十日修正決議の上答申

四 諮問第四號 一部換地位置面積決定に関する件 (田中町の一部)

大正十四年四月十六日諮問 同日原案可決の上答申

議事要綱

本案は大正十四年一月二十七日火災の爲焼失したる田中町の一部にして、審議の結果原案の通可決せり。

五 諮問第五號 一部換地面積決定に関する件 (田中町の一部)

大正十四年五月十六日諮問 同日原案可決の上答申

議事要綱

本案は大正十四年五月十三日焼失せる區域前回焼失せる田中町に接する部分にして、審議の結果満場一致を以て原案可決の上、左記項目を附帯決議せり。

記

場一致を以て原案可決の上、左記項目を附帯決議せり。
記

「面積に誤差ありたる場合は之れを訂正することを得」

六 諮問第六號 整理前土地各筆平均坪當指數に關する件 (地區全部)

大正十四年七月二十九日諮問 委員會二回開催 同日修正假決議 同年十一月二十八日本決議の上答申

議事要綱

本案に關しては審議の結果不合理の點を修正するの條件付にて假決議を爲し、越えて大正十四年十一月二十八日整理後路線價指數に關する件附議の際本決議とせり。

七 諮問第七號 整理後路線價指數に關する件 (地區全部)

大正十四年十一月二十八日諮問 委員會二回 協議會四回開催 同十五年三月二十六日修正決議の上答申

八 諮問第八號 換地面積並整理後各筆平均坪當指數決定に關する件

(地區全部但し換地面積案は田中町の一部を除く)

大正十四年十一月二十八日諮問 委員會八回 協議會九回 特別委員會五回開催
同年十二月十四日より翌十五年七月二十六日に至る六回に修正決議の上其の都度答申

九 諮問第九號 換地面積一部變更に關する件 (玉姫町の一部)

昭和二年四月十三日諮問 同日原案可決の上答申

一〇 諮問第十號 整理後路線價指數一部變更に關する件 (各町の一部)

昭和三年三月二十三日諮問 同日原案可決の上答申

一一 諮問第十一號 換地面積並整理後土地平均坪當指數一部變更に關する件 (各町の一部)

は土地に關する權利の讓渡等ありたる場合の處分方の件
昭和三年三月二十三日諮問同日原案可決の上答申

第二章 整理前土地の狀況

本地區の總面積は十一萬九千五百六十九坪七合五勺にして、内宅地面積十萬千六百六十一坪二合九勺、公共用地面積一萬八千四百八坪四合六勺なり、宅地面積及公共用地面積が地區總面積に對する割合は宅地八割四分六厘、公共用地一割五分四厘なり、宅地内借地面積は八萬三千四百二十三坪五合四勺にして、之が宅地面積に對する割合は八割二分五厘なり。

本地區に於ける街路分布の狀況を述べれば左の如し。

一 主要街路

地區の中央部を南北に貫通する電車通は幅員九間半にして、地方今戸町より南部地區界を東走して橋場町に至る通稱大門通は幅員五間乃至六間なり。

二 其の他の街路

三ノ輪町より地區の北端を東走し橋場町に至る通稱白鬚橋通は幅員三間乃至四間にして、三ノ輪町の一部を除くの外は郡市境界なり、又地區の西南部日本堤より地方今戸町、田中町を経て前記の電車通に至る通稱夜店通は幅員三間乃至五間、夜店通の北部に於て日本堤より地方今戸町、田中町を経て前記の電車通を横切り橋場町に至る街路は幅員二間乃至三間、地方今戸町百三十一番地先より北上して田中町九十九番地先に至る街路は幅員約三間なり、其の他は幅員狭小にして街路系統不規則なり。

第三章 計劃の大要

第一節 街路及小公園計畫

本地區に於ける特別都市計畫委員會議定の街路及小公園左の如し。

第一 幹線街路

第二十三號線は地方今戸町より西部地區界を三ノ輪町に至る幅員二十二米の街路にして、從來の開渠山谷堀に覆蓋工事を施行し街路となし、在來日本堤通の兩側に擴張し、第三十二號線は地區の稍中央部を南北に貫通する幅員二十二米の街路にして、在來電車通の兩側に擴張し、第三十七號線は三ノ輪町より北部地區界を東進して橋場町に至る幅員二十二米の街路にして、在來白鬚橋通の兩側に擴張せり、第二十三號線中山谷堀の覆蓋及之に伴ふ日本堤の法敷居住者立退の件に付尠なからざる困難を爲したり(第四十三地區参照)

第二 補助線街路

第一號線は橋場町と玉姫町との界を南北に走る幅員十五米の街路にして、在來街路の兩側に擴張し、第三十八號線は地方今戸町より南部地區界を東進して橋場町に至る幅員十五米の街路にして、在來大通の兩側に擴張し、第七十號線は田中町と三ノ輪町との界に於て日本堤より東北へ走り、幅員八米の街路と連絡して北折し、幹線第三十七號を経て第六十四地區に入る幅員十一米の街路にして、曲折點以南は新設し、其の以北は在來街路の兩側に擴張せり、第七十二號線は日本堤より地方今戸町及田中町を貫通して東進し、幹線第三十二號に終る幅員十一米の街路にして、地方今戸町内を新設し、其の他は在來街路の兩側に擴張せり、第八十號線は玉姫町の西部に於て地區を南北に縦斷する幅員十一米の街路にして新設し、第八十一號線は元吉町の東側より北上し、田中町を縦斷して幹線第三十七號に終る幅員十一米

街路の兩側に擴張せり、第八十線は玉姫町の西部に於て地區を南北に縦斷する幅員十一米の街路にして新設し、第八十一號線は元吉町の東側より北上し、田中町を縦斷して幹線第三十七號に終る幅員十一米

の街路にして、在來街路の兩側に擴張せり。

第三 區劃整理街路

區劃整理街路は幅員三米、四米、六米、七米、八米及九米にして土地の狀況に應じ、且幹線及補助線の連絡に考慮を拂ひ新設、擴張又は改修を爲せり。

第四 小公園

玉姫公園は玉姫町に新設し、西は八米區劃整理街路を隔て、東京市正徳尋常小學校(玉姫尋常小學校改稱)に相對し、東は補助線第八十號、北は六米區劃整理街路に接し、南は玉姫稻荷神社に隣す、其の面積千六十坪八勺なり。

以上述べたる幹線、補助線及區劃整理街路の幅員、延長及面積を表示すれば左の如し。

整理後街路幅員延長面積調

區分	番號	幅員	延長	面積	備考
幹線	一三	三米	五四・三八 ^米	八四・八三 ^坪	地區界
	三三	三米	三三・二九	一一〇・七七	地區界
	三三	三米	一一〇・七七	五、三五・三〇	
	計	一	二〇八・一四	八、三〇・九〇	
支線	一	一五・〇〇	一三八・六五	一、〇八・八七	地區界
	二	一五・〇〇	八八・〇〇	一、九三・二六	

一月二十七日田中町の一部分火災の爲焼失したるを以て、其の焼失區域を含むブロックを一區として、
 に換地位置並面積案を作成し、同年四月十六日委員會に提出し同日原案の通可決したり、而して曩に附

議したる換地位置案は同月二十五日委員會に於て修正決議を爲せり、然るに同年五月十三日田中町の前
 回焼失したる區域に接する部分に再び火災ありたるを以て、同月十六日其の焼失區域の換地面積案を委
 員會に附議したるに原案の通可決し、其の他の換地面積案は同年十一月二十八日委員會に附議し、同年
 十二月十四日より同十五年七月二十六日迄七回に修正決議したり。

換地設計に因る宅地面積八萬四千九百二十三坪四合六勺にして、公共用地面積三萬四千六百四十六坪
 二合九勺なり、宅地面積及公共用地面積が地區總面積に對する割合は宅地七割一分、公共用地二割九分
 なり、宅地の内借地面積七萬二千七百二十六坪七合九勺にして、宅地面積に對する割合は八割五分六厘
 なり、而して宅地が公共用地となりたる面積二萬二千八百九十三坪一合六勺、公共用地が宅地となりた
 る面積六千六百五十五坪三合三勺、其の差引潰地面積一萬六千二百三十七坪八合三勺にして、平均減歩
 率一割六分なり。

整理前後に於ける土地の狀況を表示すれば左の如し。
 整理前後土地面積調

整理後	整理前	區分		公共用地面積	潰地面積	潰地面積の整理前宅地面積に對する割合	潰地面積より整理前宅地面積を控除したる面積
		總面積	宅地面積				
七、七六・七九	二九、五六九・七五 ^坪	一〇一、一六二・二九 ^坪	八三、四三・五五	一八、四〇八・四六 ^坪	一六、一三七・八三 ^坪	〇・二六五二四六	六、二二・七一 ^坪
〇・八五六	〇・七二〇	〇・八四五	〇・八四五	〇・二五〇	〇・二五〇		

第四十二地區 甲 整地

備考 面積は實測面積なり、但し整理前借地面積は申告に據る。

宅地面積内譯

區分	民有地	國有地	公有地	計
整理前	九〇、一九・九〇 ^坪	三、四七・六〇 ^坪	七、五七・七五 ^坪	一〇一、一六・二九 ^坪
整理後	七六、五四・九六	二、五六・四五	五、八二・〇五	八四、九三・四六

整理前公共用地面積内譯

街路	國有	公有	民有	小計	河川運河	公園	園	共同物揚場	堤塘	溝渠	合計
九、八二・五七 ^坪	一、七三・九〇 ^坪	四、六三・八九 ^坪	二六、二五・四五 ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	二、二五・〇二 ^坪	一八、四八・四六 ^坪

整理後公共用地面積内譯

街路	幹線	補助線	區劃整理線	小計	河川運河	公園	園	共同物揚場	堤塘	溝渠	合計
八、三五四・九〇 ^坪	七、二九八・五九 ^坪	二七、七七・二二 ^坪	三、四三・五九 ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	— ^坪	一、六〇・五二 ^坪	一四、〇六・二九 ^坪

第四章 土地の評價

第一節 整理前土地の評價

整理前路線價指數に關する件は大正十三年十二月二十二日土地區劃整理委員會に附議し、同十四年四月十日修正決議せり、又整理前土地各筆平均坪當指數に關する件は大正十四年七月二十九日委員會に附議し、同年十一月二十八日修正決議せり。

本地區整理前の土地評價には路線價に對する奥行價格百分率中乙及丙の兩率を適用したり、路線價指數は土地の狀況に依り三百七十五個乃至千個と評定せり、即ち地區を縦斷する電車通、通稱夜店通の東部及日本堤の南部の三個所を最高千個、橋場町の東部の私道を最低三百七十五個としたり、路線價指數に基き算出せる土地各筆平均坪當指數の最高は九百八十四個、淺草町五番ノ一にして、最低は二百四十四個、橋場町二百五十三番なり。

宅地全筆の總指數は土地總指數五千三百三十五萬七千三百七十四個より、私道指數一萬四千九十八個を控除したる五千三百三十四萬三千二百七十六個にして、之を宅地總面積の十萬千六百六十一坪二合九勺にて除したる平均坪當指數は五百二十七個なり。

借地權利價割合は市有墓地を九割、一般宅地を二割乃至三割と定めたり。

第二節 整理後土地の評價

整理後路線價指數に關する件は大正十四年十一月二十八日土地區劃整理委員會に附議し、同十五年三月二十六日修正決議せしも、昭和三年三月二十三日其の一部變更案を委員會に附議し同日原案の通可決

整理後路線價指數に關する件は大正十四年十一月二十八日土地區劃整理委員會に附議し、同十五年三月二十六日修正決議せしも、昭和三年三月二十三日其の一部變更案を委員會に附議し同日原案の通可決

せり、整理後土地各筆平均坪當指數決定に關する件は大正十四年十一月二十八日委員會に附議し、同年十二月十四日より翌十五年七月二十六日迄七回に修正決議したるも、昭和三年三月二十三日其の一部變更案を提出し、同日原案の通可決せり。

整理後の土地評價には整理前と同じく乙及丙の兩率を適用したり、路線價指數は土地整理の狀況に依り四百個乃至千二百二十五個と評定せり、即ち幹線第三十二號を最高千二百二十五個、橋場町の四米區劃整理路線を最低四百個としたり、路線價指數に基き算出せる各筆平均坪當指數の最高は千八十八個、淺草町三十番にして、最低は三百十八個、橋場町二百二十二番なり。

換地全筆の總指數は五千二百六十五萬八千二百七十六個にして、之を換地總面積の八萬四千九百二十三坪四合六勺にて除したる平均坪當指數は六百二十個なり。

借地權利價割合は整理前と同じく市有墓地を九割、一般宅地を二割乃至三割と定めたり。

以上記述せる整理前後に於ける最高最低の路線價指數並坪當指數及宅地總平均坪當指數を表示すれば

左の如し。

整理前後路線價各筆坪當宅地總平均坪當指數調

區	分				整理前		整理後	
	最高	最低	最高	最低	指數	價格	指數	價格
路線價	1,000	375	1,000	375	1,125	1,000	1,125	1,000
各筆坪當	984	244	1,773	432	1,088	1,773	1,088	1,773
最高	1,000	375	1,000	375	1,125	1,000	1,125	1,000
最低	375	1,000	375	1,000	375	1,000	375	1,000

宅地總平均坪當	五七	九四・八六	空〇	一一・六〇
---------	----	-------	----	-------

備考 指數單價は十八錢なり。

又整理前後に於ける所有權、借地權の評定權利指數を掲ぐれば左の如し。

整理前後所有權借地權評定權利指數調

區分	整理前		整理後	
	指數	價格	指數	價格
所有權	四三、三五、七四 ^個 (内私道) 一四、〇九八 外 五七、五三五	七、七六、八三・五六 ^円 二、五七・六四 一〇二、一六・三〇	四三、二七九、五五 ^個 九、三七六、八八二	七、七九〇、二九一・二〇 ^円 一、六八、一九・五九
借地權	九、四七四、〇九七	一、七五、三七・四六	九、三六八、二七六	一、六八、一九・五九
合計	五三、七九、八三九 (内私道) 一四、〇九八 外 五七、五三五	九、五〇一、一七・〇二 二、五七・六四 一〇二、一六・三〇	五三、六八八、二七六	九、四六八、四九・六六

備考 一 整理前外書は潰地充當用買收地の指數及價格なり。

二 整理前の總指數潰地充當用買收地の指數を包含するものは五三、三五七、三七四個なり。

三 整理前の宅地總指數私道の指數を包含せざるものは五三、三四三、二七六個なり。

第五章 換地處分

第一節 換地處分案の決定

土地各筆清算の件、換地處分に關する件及補償金の配當に關する件は昭和三年三月二十三日土地區劃整理委員會に附議し、同日原案の通可決したるを以て、即日内務大臣に土地區劃整理設計、換地處分及土地補償金の配當方法決定に關する認可申請を爲し、同月二十六日認可、同日内務省告示第七十一號を以て換地處分認可の告示あり、依て即日東京市告示第八十四號を以て換地處分の件認可ありたるに付、土地補償金受領権利者は三月二十六日より四月四日迄に東京市復興事業局第三出張所に申告書を提出すべき旨を告示せり、而して本地區に於て換地處分を爲したる土地は所有地整理前四百六十二筆、整理後四百十三筆、借地整理前千二百三十三件、整理後千二百四十四件なり、土地權利者は所有權者整理前後共百五十一人、借地權者整理前後共八百七十二人なり。

土地各筆清算に際しては整理前要清算土地評定權利指數五千二百七十八萬九千八百三十九個を以て、換地の評定權利指數五千二百六十五萬八千二百七十六個を除したる比率〇・九九七五〇七八を、整理前の各筆評定權利指數に乗じて整理前の比例權利指數を算出せり。

換地處分の結果左の如し。

一 清算を爲したるもの

第四十二地區 甲 整地

換地説明書別	從前の土地		換地		地		計算上の清算		清算		
	面積	積	面積	積	評定権利指數	權利價格	徵收	交付	徵收	交付	
甲	二七、七九〇 ^坪	六、三四三〇 ^坪	八四、九五七 ^坪	五、一七四 ^坪	四、七六二八五七 ^圓	八〇、六〇九二四二六 ^圓	三、一四〇九三六 ^圓	一、七九三五四一六 ^圓	二、八五、四四三 ^圓	三、九、九七七 ^圓	三、六、四七七〇 ^圓
乙	—	七〇、七三四九四	—	六、二三八一五	七、八七五四一九	一、四一七、五七五四二	六、七三六五三六	七〇、九〇六二四	—	五、一〇、九二六	五、六、七五〇〇四
計	二七、七九〇 ^坪	七〇、七三四九四	八四、九五七 ^坪	六、三三三二〇	九、四、八八二七六	九四、八八、九六六	三、八、七四七三	二、〇、二、三〇〇	二、八、五、四四三	二、三、一、〇、七、七	二、三、一、〇、七、七

備考 一 換地説明書別欄、甲は所有權と所有權者にして借地權を有するもの、借地權との清算を、乙は借地權のみの清算を掲ぐ。

二 從前の所有地面積は臺帳面積にして、借地面積は申告面積なり。

三 甲借地面積は乙より移記したるものにして、乙借地面積は甲に移記したるものを除きたる面積なり。

二 特別處分を爲したるもの

一 換地を交付せず清算金を交付したるもの

二 特別處分を爲したるもの
 一 換地を交付せず清算金を交付したるもの

権利者	區町丁目	地番	地目	權利別	面積	指數	價格	摘要
今村 繁三	淺草區 淺草町	二三ノ二	宅地	所有權	一・二六 ^坪	五〇五 ^圓	九〇・九〇 ^円	小面積にして一筆換地として不適當なるに依る
竹内泰三郎	同	二ノ二	同	同	二・二七	一、六三〇	二九三・四〇同	
清水半四郎	同	二三ノ(1)	同	賃借權	一・二六	二五	三三・五〇同	
星野 重次	同 地方今戸町	一三(6)	同	同	一・六七	一、六七〇	三〇〇・六〇	協定に依る
岡本 貫玉	同 下谷區 三ノ輪町	一〇ノ(2)	同	同	三・五九	二、九三九	五九・〇三同	
同	同	一〇ノ(3)	同	同	二・五五	八七七	一五七・六同	
勝田周太郎	淺草區 淺草町	一〇ノ(5)	同	同	二・七三	一、四二二	二五四・六同	
高橋 末吉	同	八ノ(2)	同	同	二・九〇	八五五	一四八・五同	
竹之内留吉	同 地方今戸町	二三ノ(1)	同	同	二・〇〇	二五〇	四五・〇〇同	
村瀬八太郎	同 田中町	八ノ(3)	同	同	四・九六	三三三	六三・五同	
柳 秀吉	同	一〇(1)	同	同	二・六〇	九一八	一五二・四同	

第四十二地區 甲 整地

齋藤長十郎	淺草區 淺草町	九ノ(11)	宅地	賃借權	七・二〇	七・七	一四・六	協定に依る
北島 豊吉	同 田中町	三ノ(2)	同	同	四・〇〇	四・五七	八・二六	同
三上又治郎	同 玉姫町	一三ノ(1)	同	同	一・〇三	七・五	一三・五〇	同
島田丑三郎	同 田中町	六ノ(1)	同	同	四・二九	二・八五	五・三〇	同
鈴木長三郎	同	三ノ(1)	同	同	三・〇〇	三・四二	六・五同	
木村 藤作	同 元吉町	四ノ(5)	同	同	二・三八〇	六・二四	一、一〇〇・五	權利者との協定に依る
合計				所有權 賃借權	一四〇・二二	一七、四九	三、一七・三三	

二 換地を交付せず且清算金を交付せざりしもの

東京府所有地用悪水路八筆六十三坪四合八勺、東京市所有地道路七十一筆千六百七十九坪二合七勺、用悪水路十三筆八十四坪一合七勺、合計千八百二十六坪九合二勺。

潰地充當用買収地東京市所有地五筆千二坪五合七勺、内務省所有地六筆三百十八坪一合九勺、合計千三百二十坪七合六勺。

三 所有權以外の權利の又は處分の制限の指定を爲したるもの

一 既登記の所有權以外の權利の指定を爲したるもの地上權四件、地上權假登記九件、抵當權百六十九件、賃借權假登記七件あり。

一 既登記の所有権以外の権利の指定を爲したるもの地上権四件、地上権假登記九件、抵當權百六十九件、賃借權假登記七件あり。

二 處分の制限の指定を爲したるもの競賣申立四件あり。
 三 未登記の所有権以外の権利の指定を爲したるもの賃借權千二百二十四件あり。
 備考 右の外係争中の賃借權三十一件あり。

第二節 清算金

第一 土地補償金を以て徴收清算金に充當

本地區に於ける換地處分は昭和三年三月二十六日內務大臣の認可あり、而して清算金徴收額は二十九萬三千二百七圓四錢にして人員五百三人なり、又土地補償金は同年四月十日補償審査會に於て四十五萬七千四百六十錢人員九百七十人と決定せられ同月十一日其の通知を受けたり、依て同年五月五日左記の通補償金を以て徴收清算金に充當處分を爲したり。

徴收清算金總額		補償金總額		補償金充當額		充當後徴收清算金		充當後交付補償金	
金	人員	金	人員	金	人員	金	人員	金	人員
二九三、〇七、〇四	五〇三	四五七、〇四、六〇	九七〇	一五〇、五〇三、七六	五〇二	一四一、七〇三、二八	二六九	三〇六、六〇〇、八四	七九

第二 換地處分に關する通知

前記充當處分を爲したる後換地説明書及補償金清算金臺帳に依り換地處分に關する通知書を作成し、市内居住者に對しては人夫を使用して之を送達し、其の他に對しては書留郵便を以て之を送達せり。

第三 清算金の徴收

本地區に於ける徴收清算金總額は二十九萬三千二百七圓四錢なりしが、内十五萬五百三圓七十六錢に

對し土地補償金を以て充當したる結果、各納付義務者より直接徴收すべき清算金は差引十四萬二千七百三圓二十八錢にして人員二百六十九人なり。

右徴收人員二百六十九人中分納申請資格者即ち百圓以上納付すべきもの百二十二人なるも、内官公署分二件を除き差引百二十人に對し分納申請期限を昭和三年五月十九日とし、同月五日附を以て換地處分に關する通知書と共に分納申請書用紙を送付し置きたる處、右期限内に申請書を提出したるもの八十一人にして資格者總數に對し六割八分に當れり。

依て右申請書を審査の上、昭和三年七月十一日附を以て分納許可の決定を爲し、同日各申請者に對し許可書を送付せり。

本地區の清算金徴收事務は淺草區役所に於て取扱ふものにして、昭和三年六月より之が徴收を開始せり。

第三 清算金の交付

本地區に於ける交付清算金總額は二十九萬三千二百七圓四錢にして、昭和三年五月三十日之が支拂を開始し、同六年二月十五日迄に全部其の支拂を了したり。

第六章 土地補償金

第一 補償金の清算並決定

本地區に於ける宅地減歩率は一割六分〇五一四二六なりしを以て、特別都市計畫法第八條に依り補償金の交付を要する爲、同法第五條の規定に依る補償金の配當割合を定むるに當り、幹線街路敷充當用と

本地區に於ける宅地減歩率は一割六分〇五一四二六なりしを以て、特別都市計畫法第八條に依り補償金の交付を要する爲、同法第五條の規定に依る補償金の配當割合を定むるに當り、幹線街路敷充當用と

して國に於て買收したる土地並補助線街路及小公園敷充當用として市に於て買收したる土地に對しては該土地の指數相當額とし、其の他の土地に對しては補償總指數より前記指數を控除したる指數を各整理前權利指數に按分するものとし、之を土地區劃整理委員會に諮問して決定せり。
 次で前記配當割合に基き左表其の一に依り計算したる補償指數を整理前各權利に配當して原案を作成の上、昭和三年四月五日補償審査會に提出し、同月十日原案の通決定せられ同月十一日其の旨通知を受けたり。

而して要交付補償金總額は四十五萬七千四百六十錢にして人員九百七十人なり。

補償金計算調書

(其の一)

摘 要		員 數
整理前宅地總面積	一〇一、一六一坪二九	
整理後宅地總面積	八四、九二三坪四六	
潰地總面積	一六、二三七坪八三	
整理前宅地總面積に對する潰地總面積の割合	〇・一六〇五一四二六	
整理前宅地の一割に相當する面積	一〇、一一六坪一二	
補償總面積	六、一一一坪七一	
整理前宅地總指數	五三、三四三、二七六個	
同上平均坪當指數	五二七個	
指數單價	〇圓一八	

第四十二地區 甲 整地

整理前宅地坪當價格
 補償總指數
 補償金額

九四圓八六
 三、三三六、一四一個
 五八〇、七〇五圓三八

(其の二)

摘

要

員

數

特別都市計畫法施行令
 第二十九條該當中指數
 相當額配當のもの

面積
 整理前指數
 補償指數
 補償金額

一、三二二坪九五
 五六七、五三五個
 五六七、五三五個
 一〇二、一五六圓三〇

差引整理前宅地總指數

五、七七五、七四一個

差引補償總指數

二、六五八、六〇六個

補償金配當率

五〇個三七五五三

特別都市計畫法施行令

九、九五二坪六七

第二十九條該當中按分

二、三六四、九六三個

率に依り配當のもの

一一九、一三六個

差引要交付補償金

四五七、一〇四圓六〇

面積
 整理前指數
 補償指數
 補償金額

二、四四四圓四八

第二 補償金國市負擔區分

本地區に於ける補償金國市負擔區分に關する計算は左記調査表の如く、國に於て四十萬七十六圓六十四錢(人員八百九十六人)市に於て五萬七千二十七圓九十六錢(人員四人)を負擔するものなり。

國市負擔區分調査表

(其の一)

面積	補償		面積	國負擔		面積	市負擔		備考	
	金額	指數		金額	指數		金額	指數	整理前面積 總指數	平均坪 當指數
六、三二・七 ^坪	五八〇、七五・三 ^円	三、二六、一四 ^個	四、七八・七〇 ^坪	四四八、五六・五〇 ^円	二、四九二、〇五 ^個	一、三九三・〇一 ^坪	七四、二六 ^個	一〇一、二六・二 ^坪	五七 ^個	五七、二、九三、四九 ^個

(其の二)

國負擔	幹線	面積	補償		施行令第二十九條該當地	計		差引交付
			金額	指數		金額	指數	
四、七八・七〇 ^坪	四、七八・七〇 ^坪	二、四九二、〇五 ^個	四四八、五六・五〇 ^円	二、四九二、〇五 ^個	九、〇六 ^個	一七、三五 ^個	二、二九、三〇 ^個	二、三三、六八 ^個
四、七八・七〇 ^坪	四、七八・七〇 ^坪	二、四九二、〇五 ^個	四四八、五六・五〇 ^円	二、四九二、〇五 ^個	一六、三六・六八 ^個	三、九三・一八 ^個	四八、四七・八六 ^個	四〇〇、〇七・六四 ^個

區分		補償金額	決定額	人員	充當	額	人員	直接	交付	額	人員
		補償金額	決定額	人員	補償金額	人員	補償金額	人員			

國負	市負	計
400,076.64	57,077.66	457,154.30
96	4	100
130,021.76	110,411.00	240,432.76
496	1	497
269,933.88	36,666.66	306,600.54
75	4	79

第四 補償金の交付

本地區に於ける市負擔補償金總額五萬七千二十七圓九十六錢中、徵收清算金に充當したる金額二萬四百三十一圓は市會計規程に基き振替手續に依り昭和三年九月十八日支出し、直接交付額三萬六千六百六圓九十六錢は淺草區役所に於て昭和三年六月十五日之が支拂を開始し、昭和三年六月十五日迄に全部其の支拂を了したり。

國負擔總額四十萬七十六圓六十四錢中、徵收清算金に充當したる金額十三萬八十二圓七十六錢は同年八月六日淺草區役所に納付し、直接交付額二十六萬九千九百九十三圓八十八錢は同年五月之が支拂を開始し、同六年三月迄に全部其の支拂を了したり。

第七章 登記及地價配賦

第一節 登記

第一 代位登記

土地に關し代位登記を爲したる件數は土地表示更正及變更四十件、土地名義人表示更正及變更七十件、

第四十二地區 甲 整地

土地分合筆百六十件、所有權保存二件なり。

第二 區劃整理登記

土地囑託筆數は整理前三百十二筆、整理後三百四十四筆にして、建物囑託件數は要登記のもの八百四十八件なり、囑託書を東京區裁判所二長町出張所に提出したるは昭和三年六月十二日にして、登記の完了は同年七月二十八日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和三年二月二十六日より約五箇月に亘れり。

第二節 地價配賦

第一 地價配賦前の處理

本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を厩橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。

- | | |
|--------------|------------|
| 一 土地區劃整理施行申告 | 昭和二年四月 六 日 |
| 一 工事著手届 | 同 日 |
| 一 工事完了届 | 昭和三年六月二十五日 |

第二 地價配賦

地價配賦案は昭和三年六月九日之が作成を了し、六月二十五日厩橋稅務署長に提出し、同年九月五日地價配賦許可の指令を受けたり。

本地區整理前有租地の地價總額は三十六萬三千七百八十六圓八十七錢にして、整理に依り減少したる有租地面積に對する控除地價額は六萬七千七百四圓なり、之を前述の地價總額三十六萬三千七百八十六圓八十七錢より控除したる二十九萬六千八十二圓八十七錢は、即ち整理後有租地に對し配賦せらるべき

有租地面積に對する控除地價額は六萬七千七百四圓なり、之を前述の地價總額三十六萬三千七百八十六圓八十七錢より控除したる二十九萬六千八百八十二圓八十七錢は、即ち整理後有租地に對し配賦せらるべき

地價總額とす、而して整理後各筆評定指數千個當配賦地價額は六圓九錢六二一〇四三なり。
地價配賦算定に關する數字を示せば左の如し。

一 整理前後有租地面積

整理前面積	九二、九七・三 ^坪
整理後面積	七五、六九・五 ^坪
差引減步面積	一七、三六・八 ^坪

二 整理前有租地坪當平均地價

整理前面積有	九二、九七・三 ^坪
同上總地價	三三、七六・八 ^円
坪當平均地價	三・九二 ^円

三 控除せらるべき地價

有租地差引減步面積	一七、三六・八 ^坪
坪當平均地價	三・九二 ^円
控除地價	六七、七四・〇〇 ^円

四 整理後評定指數千個當配賦地價額

整理後有租地總指數	四八、五八・三 ^圓
配賦地價額	二九六、〇八・八 ^円
指數千個當配賦地價額	六・〇九六二〇四三 ^円

次に整理前後の土地を有租地、免租地及公共用地の區分に從ひ地目別に掲記すれば左の如し。
整理前後土地面積並筆數調

區分地目	從前の土地		整理後の土地		面積差引		筆數差引	
	臺帳面積	筆數	實測面積	筆數	増	減	増	減
有租地								
宅地	九一、六六・九 ^坪	三〇七	七五、六九・五 ^坪	三九八	一六、九七・三 ^坪		九	
村社地	一、三三・五	一	九一〇・〇	二		二九・七四		一
道路	六四・二〇	二五				六四・二〇		二五

國有免租地	市有免租地											府有免租地	民有免租地									
計	官地	寺地	內務省地	計	敷地	公地	事業用地	都市計畫地	社會用地	社會用地	投用地	學用地	屋敷地	公墓地	水路	道	道	計	水路	道	私設	
三、六六一·一九	三、三三三·〇〇	三、三八·一九		九、三四一·五九	三、四〇〇·〇〇	六六二·五七	三〇〇·〇〇	三二一·〇〇	二、五八六·三三	一、五三三·五五	一、八五五·九〇	八四·一七	一、六七九·二七	三、四〇八	一、八四三·三三	一、一〇〇·〇〇	四〇·二八	二八	一	一	九四三·三三	三〇·三三
九	六	三		二〇	三	二	一	六	三	五	七	三	六	八	二八	一	一				九四三·三三	三〇·三三
二、五八六·四五	二、五八六·四五			五、七四七·四二			二、五八六·三三	二、一六二·六一	二、五八九·二七	一、〇八五·三〇	一、五六六·三三										三	一
三		三		九			一	一	二	二	三										三	一
				二·四四					二·九四													
一、〇七四·七四	七五六·五五	三三八·一九		三、五九七·二一	三、四〇〇·〇〇	六六二·五七	七四八·八	二九·九		四三七·〇五	二八九·七	八四·一七	一、六七九·二七	六、三〇八	九四〇·〇一	一、一〇〇·〇〇	六〇·七				九四〇·〇一	一、一〇〇·〇〇
六	六			二〇	三	二		五	二	三	四	三	六	八	二六	一					二六	一

計	三、六二・一九	九	二、五八・四	三	一、〇七四・七	六	三、八一九	六
---	---------	---	--------	---	---------	---	-------	---

合	公共用地		
	計	小公園	溝渠
計	二九、二五六・〇四	二、三六八・五八	二、〇七一・八四
四三	四三	一	一
二九、五九九・七五	三、三三〇・八	一、〇〇〇・八	三三、三九一・四八
四三	四三	一	一
二四、八九七・七六	二四、八九四・八三	一、〇〇〇・八	三三、八四四・七四
二四、五八四・〇五	一、九二一・三三	一、九二一・三三	一、九二一・三三
九三	一	一	一
二四	一	一	一

第四十二地區 甲 整地

八四七

乙 建物其の他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

第一節 建物狀況

本地區整理前の宅地總面積は十萬千六百六十一坪二合九勺にして、之に所在する建物の總棟數は四千五百三十四棟此の延坪數五萬八千二百一十一坪六合一勺なり、而して建物一棟當り宅地面積は二十二坪三合一勺、同建物延坪數は十二坪八合四勺なり。

前記總棟數の内移轉を要するもの四千三百五十棟にして、爾餘の百八十四棟は換地の關係に依り其の儘据置き得る不要移轉建物なり、之を構造別に示せば左の如し。

種別	建物總數		内		譯
	棟數	延坪數	要移轉建物 棟數	延坪數	
木造建物	四、五九	五七、八一・二 ^坪	四、三五	五〇、〇九・三 ^坪	一八四
石造平家建	三	一六・七	三	一六・七	一
煉瓦造平家建	八	五三・七	八	五三・七	一
鐵骨造平家建	三	二四七・〇四	三	二四七・〇四	一
鐵筋コンクリート造二階建	一	一三・七	一	一三・七	一
計	四、五三四	五八、三二・六 ^坪	四、三三〇	五〇、三六・三 ^坪	一八四
					三、八四一・八 ^坪

鐵筋コンクリート造二階建	計	四、五四	五、三二・六一	四、三五〇	四、三九・七	一八	三、八二・八
--------------	---	------	---------	-------	--------	----	--------

要移轉建物の用途を大別すれば、住宅二千八百二十五棟の六割四分を最高とし、商店九百六十棟の二割二分之に次ぎ、以下工場、飲食店、旅館等の順位なり、之を表示すれば左の如し。

建物總數に對する百分比	100.00	100.00	95.94	93.40	4.06	6.60
-------------	--------	--------	-------	-------	------	------

種別	棟數	要移轉總棟數に對する百分比	轉建	
			延坪數	一棟平均坪數
官公署	三	0.07	一八・五 ^坪	六・三 ^坪
學校	八	0.18	六六・六	七・〇三
託兒所	一	0.02	九五・六	九五・六
神社	三	0.07	一〇・一	三・四
教會	一	0.02	一八・〇	一八・〇
醫院	一五	0.35	四三・六	二七・五
銀行	二	0.05	四三・〇	二一・五
住宅	二、八五	六四・九五	三〇、〇六・九	一〇・六二
旅館	八六	一・九	四、四五・五	五・六
下宿	三	0.07	一三・五	四・八
商店	九六〇	二三・〇七	一一、三〇・六	一二・八〇
飲食店	八	二・〇一	一一〇・二	一三・六

第四十二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

觀物場	席亭	娛樂場	武術道場	浴場	理髮店	工場	倉庫	變電所	其他	計
二	一	一	一	七	三	二〇	八	一	一〇八	四、三五〇
〇・五	〇・二	〇・二	〇・二	〇・六	〇・九	二・六	一・九	〇・二	二・四	一〇〇・〇
一四八・六	一五・〇	三七・四	五三・四	四四・八	三八・九	三五六・七	一、〇七・七	三・〇	五七八・四	四、三九・七
七四・三	二五・〇	三七・四	五三・四	六三・一	一〇・七	二九・三	一一・九	三・〇	五・六	二・五〇

第二節 地區告示後の建築

大正十三年三月二十七日東京都市計畫土地區劃整理施行地區の告示後に於て、假設建築物として新築、改築、増築等の爲、東京府知事に許可申請を爲したるもの建物千六百五十棟、内許可せられたるもの千三百十七棟、許可せられざりしもの三百三十三棟なり、而して前記の如く不許可の指令を受けたるにも拘らず新築、改築、増築等を爲し、事業施行の必要上移轉を要したるもの二百二十五棟なり。

第二章 移轉計畫

本地區内田中町五十四番より七十番に至る一帯は、本地區の移轉命令開始前大正十四年一月十七日の火災に因り建物百四十棟を焼失したるを以て、此の機會に於て移轉の促進を圖ることとし、直に此の區域に對し移轉の準備を爲し、區劃整理委員援助の下に焼殘物に對しては移轉料を交付すべきに付、建物を換地上に建築すべき旨罹災者一同に對し勸誘すると共に、一面立退先なき罹災者を收容する爲、特に復興局より臨時收容家屋を、本市社會局より震災當時の救護用天幕を借受け焼失地附近に設置したるも、罹災者は此の勸誘に應ぜず、従前の土地にバラツクを再築したり、然れども之を動機として引續き移轉計畫を進めたる爲、結局本地區の移轉促進を見るに至りたり、而して本地區は之を百二十箇の移轉群に分ち、大正十四年三月より建物及工作物の現狀調査に著手し、調査済の移轉群より逐次移轉工法並工程を定め、昭和二年七月全部の移轉計畫を終了せり。

而して要移轉建物四千三百五十棟に對する移轉工法を見るに、曳方一部除却に依るもの二千三百六十棟にして五割四分を占め、之に次ぐは曳方の八百三十六棟にして一割九分に相當し、他は移築一部除却、移築、据置一部除却、曳方一部移築一部除却の順位なり、之を構造別に示せば左の如し。

種 別	工 法 別				棟 數	計
	曳 方	曳方一部除却	曳方一部移築	移 築		
木 造 建 物	八三三	二、三六〇	二	三七二	七四	五
石 造 平 家 建	二	一	一	一	一	三
						四、三三五

第四十二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

種別	整理前建物		整理後建物		差引減	
	棟數	延坪數	棟數	延坪數	棟數	延坪數
煉瓦造平家建	—	—	—	—	—	—
鐵骨造平家建	—	—	—	—	—	—
鐵筋コンクリート造二階建	—	—	—	—	—	—
計	八六	二、三六〇	二	三六	七九	四、三〇〇
要移轉總棟數に對する百分比	一九・三	五四・五	〇・五	八六	一六・五	一〇〇・〇

八五二

前記計畫に依るときは、要移轉建物四千三百五十棟此の延坪數五萬四千三百六十九坪七合三勺は、整理後に於て其の棟數に増減なきも、坪數に於ては一割六分七厘の縮少を來し、四萬五千二百七十坪二合四勺となる、之を建物の構造別に對照すれば左の如し。

種別	整理前建物		整理後建物		差引減	
	棟數	延坪數	棟數	延坪數	棟數	延坪數
木造建物	四、三五五	五、〇三九 ^坪	四、三五五	四、九四四 ^坪	—	九、〇八四 ^坪
石造平家建	三	一六・七	三	一六・七	—	—
煉瓦造平家建	八	五・九七	八	四六・五	—	六・四三
鐵骨造平家建	三	二四七・〇四	三	一三八・七	—	八・三二
鐵筋コンクリート造二階建	一	一三・七二	一	一三・七二	—	—
計	四、三九〇	四、三六三・七 ^坪	四、三九〇	四、二七〇・四 ^坪	—	九、〇九二・四 ^坪

建物の移轉實施期間を、大正十四年七月より昭和三年三月迄の二年九月とし、大正十四年に於て三百

建物の移轉實施期間を、大正十四年七月より昭和三年三月迄の二年九月とし、大正十四年に於て三百

九棟、同十五年に於て二千四百十二棟、昭和二年に於て千五百五十七棟、同三年に於ては三月迄に七十二棟の工事を完了することに豫定したり。

第三章 移轉手續

第一節 移轉命令

大正十四年四月十六日第一次移轉命令として、田中町の一部第二移轉群建物十五棟に對し移轉命令十一通、同通知十七通を發し、爾來引續き發令に努め昭和二年八月三十日橋場町の一部第一百十八移轉群の發令を最後とし、要移轉建物四千三百五十棟の内、協議移轉に依る六十四棟を除きたる四千二百八十六棟及工作物に對し、移轉命令三千六百八十五通、同通知三千六百六十二通を發し茲に全部の發令を終へたり。

第二節 協議移轉

本地區に於て協議移轉を爲したるもの建物六十四棟、工作物三十六件あり、内建物七棟は官公署の所有にして事業實施の便宜上協議移轉を爲したるもの、其の他の建物五十七棟、工作物三十六件は民有にして、内建物三十五棟は東京市正徳尋常小學校々舎新築の爲急速移轉を要したるもの、其の他の建物二十二棟、工作物三十六件は移轉速進の爲特に急施を要したるものなり。

第四章 損害補償

第一節 補償金の決定

移轉命令の發令に次で移轉損害補償金の算定に著手せり、乃ち大正十四年五月建物及工作物の新築費並動産の種類、數量及營業休止に因る損害等の現地調査に著手、其の調査に基き移轉損害補償金の算定を爲し、同年六月以降逐次補償審査會の審議決定を経たり、而して前記現地調査は昭和二年十月迄に終了し、又補償審査會に於ける補償金の決定も回を重ねること六十四回（變更案の決定を含む）にして、同年十一月一先終了したるが、其の後に至り尙既決補償金の變更を要するものあり、之が審議決定を爲すこと四回に及び、同三年十月を以て全部の決定を了せり、尙補償審査會の決定を要せざるものに付ては、調査算定すると共に關係者と協定する等夫々處理を了したり。

補償審査會に於て決定したる補償金及其の他の移轉料總額は左表の如く、二百二萬九千五百十五圓九十一錢にして、内國負擔額七十八萬八千四百三十三圓四十八錢、市負擔額百二十四萬千八十二圓四十三錢なり。

棟建物 數	延坪數	補償金	區分	
			内	外
四、三五〇	五四、三六九・七三 ^坪	二、〇二九、五五・九一 ^円	建物移轉料 一、二六六、七五・〇五 ^円	一三、三〇〇
			工作物移轉料 一〇一、〇六・六九	三・七二
			造作移轉料 五四、一七・七五	一・〇〇
			動産移轉料 一五、九一・〇一	三・六〇
			休業補償費 一六、八九・二三	三・二五
			雜計 一三、七九・一八	二・四六
			計 一、〇五九、五五・九一	三三・三三

大正十四年	八月	三	三	一	三	三	一	一
九月	月	三	三	一	三	三	一	一

大正十五年
昭和元年

十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
七	三	三	六	六	六	六	六	六	六	八	八	八	八	八	八	八	八	八
四四三	七七七	九二〇	九八六	一、二四六	一、八五二	二、一九四	二、四六八	二、六四二	二、六四二	二、六五〇	三、二二四	三、九四四	四、〇〇四	四、二七〇	四、二七〇	四、二七七	四、二七七	四、二七七
一五三	四	八	二四二	一四三	三	三九	二七二	二二二	三三	一四二	二二七	二二	四	二七九	三六八	三六〇	四七九	一五四
四〇六	四五〇	五八	七八〇	九三	九五七	一、二八六	一、五七	一、七六九	二、〇二	二、二四二	二、四六九	二、五八三	二、六八	二、九〇七	三、二七五	三、六三五	四、一四	四、二六八
九	九	二	一〇二	一〇七	一一	一四	一六	一六	二一	二二	三三	三八	四一	四九	一一	二七	三三	五二
一八九	二八一	三〇九	四二	五八	八〇	九四	一〇八	一四八	一六九	一八四	二二二	二五三	二六七	二七二	三二二	三六三	四〇五	四、〇五
五	五〇	四七	三元	六	一四	一八	二〇	二二	二六	二〇	一七	二九	三〇	二八	二七	三三	三九〇	五九〇
五	一〇六	一五	一九一	二五五	四〇三	五六一	六八一	八〇三	九一九	一、〇四九	一、二三八	一、五二	一、八三	一九五	二、〇四	二、二一〇	二、五三	二、九三

第四十二地區
乙 建物其の他の工作物移轉

昭和三年				昭和二年							
四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月
	三							充			一
	四、三五〇	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、二七六	四、二七六	四、二七六
	三				充					九	一
	四、三五〇	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、三四七	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六
	三									一	二九
	四、三五〇	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、二七六	四、一四四
三	一八	一八	七	三	六	一四	一三	一七	一六	一〇	三三
四、三五〇	四、三八	四、三〇〇	四、二八二	四、二七五	四、二九	四、一五	四、〇二	三、八〇	三、七〇九	三、五三	三、二五三

第二節 代執行

移轉命令を受け指定期限を経過し、現場係員より工事實施方に付屢次誘導督勵を爲すも、容易に其の義務を果さざる爲、戒告を爲したる人員七十六人、建物百八棟ありたり。

前記の内戒告後も尙其の義務を履行せざる爲代執行を爲したる人員三人、建物三棟あり、其の主なる原因は義務者の怠慢に因るもの二人二棟、占有者立退を肯ぜざる爲義務者自ら移轉すること困難なりしもの一人一棟なり。

原因は義務者の怠慢に因るもの二人二棟、占有者立退を肯ぜざる爲義務者自ら移轉すること困難なりしもの一人一棟なり。

第三節 臨時收容家屋

大正十四年一月十七日田中町の一部は火災に因り焼失したるを以て、此の區域に對し直に移轉工事開始の計畫を樹て、罹災者收容の目的を以て臨時收容家屋を設置することとなりたるも、當時本市には未だ其の準備なかりし爲、復興局より移動式住宅九棟、同物置五棟を借受け、同月二十日田中町十四、二十番に設置したり、然るに罹災者の内には本家屋の使用希望者なかりし爲、一般移轉工事開始に至る迄其の儘管理するの止むなきに至りたり、而して其の後移轉工事の開始に伴ひ該家屋の必要に迫られたるを以て、大正十四年八月同所に更に移轉式住宅十棟を設置し、同月より希望者に使用せしめ、爾來移轉工事の進捗に伴ひ使用希望者増加したるを以て順次増設を爲し、工事終了の直前迄其の用に供したり、之が棟數及收容世帶數等を示せば左の如し。

設置場所	棟數		設置		撤去		住宅物置	期間	住宅		宅物		容置	
	住宅	物置	年	月	年	月			世帶數	一棟當	人員	一棟當		世帶數
淺草區田中町十四番二十番	九	五	大正十四	一	昭和十二	二	自大正十四、八 至昭和十二、二	上	三〇	三・三三	一六	一八・六	一六	三・二〇
同	〇	一	同	二、八	同	二、二	自大正十四、八 至昭和十二、二	一	三三	三・三〇	一七	一八・七〇	一	一
同 淺草町十四番	四	一	同	二、八	同	二、三	自大正十四、九 至昭和十二、二	一	三	七・七五	一四	三五・五〇	一	一
同 玉姫町百二十七番、百三十三番	三	八	同	二、三	同	三、二	自大正十四、三 至昭和十二、二	上	六	二・六五	三五	一五・八七	三	二・五

第四十二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

同 今戸公園内	二六	一〇	同	一五、二	同	三、四	自大正二、三、四 至昭和三、三、二	同	上	空	二、六	三、九	一五、五	三	二、三〇
計	三三	三三								二七	三、〇	一、三六	一七、五	六	二、三

第四節 宅地造成

本地區は地勢平坦なれども道路標高の變更並山谷堀覆蓋に因る土留工多かりし爲、工事件數八十一件百六十一箇所に及び、而して工事種別は土留工最も多く四十七件四十七箇所(内大谷石積工二十四件二十四箇所)此の面坪百八十五坪七四、板柵工二十三件二十三箇所此の面坪百四十六坪八五其の他盛土工二十四件百四箇所、假下水十件十箇所なり。

工事著手は大正十四年十月田中町七十一番の盛土工を最初とし、それより建物移轉の進捗に伴ひ順次各種工事を施行せり、而して工事は逐次進捗し昭和三年五月田中町百七十番の盛土工を最後とし、八十一件百六十一箇所の工事を全部完了したり、之に因る宅地造成完了總面積は一萬九千七百六十二坪九合九勺なり、其の工事状況を見るに左の如し。

工 事 種 別	工 事 件 數	工 事 箇 所	數	量	金	額
假 下 水	一〇	一〇	一〇	五〇八・七 ^間	三、〇五二・五 ^円	三、〇五二・五
土 留 工	四七	四七	四七	三三三・五 ^{面坪}	一四、九六六・五	一四、九六六・五
盛 土 工	二四	一〇四	二七	二、六四二・七 ^{立坪}	三、六七九・八	三、六七九・八

管理寺院名	要移轉 墓碑基數	埋葬靈數	契約移轉完了		移轉料				
			年月日	豫定年月日	墳墓	工作物	雜費	計	一基當
總泉寺	五七	一、三四	昭和二、八、三	昭和二、九、三〇	六、五九三・九五 ^円	八、八〇二・九七 ^円	一、五〇〇・五 ^円	二六、八九七・五〇 ^円	一三・空 ^円

墳墓の移轉は昭和二年九月に完了する豫定なりしが、之が實施に當り移轉先なる東京府北豊島郡志村の地元民は結束して移轉に反對したる爲、其の筋の改葬認可指令意外に遅れたるを以て、寺院をして地元民と協調を得ることに努めしめ、一面其の筋に對し改葬認可指令に關し諒解を求むる等、極力問題解決に努力したる結果、圓滿解決するに至り結局豫定に遅ること八箇月にして同三年五月漸く移轉を終了したり。

丙 地下埋設物其他工作物整理

第一章 概 説

本地區は比較的廢道多かりし爲工事數量多く且地區内一帶低濕地にして地中線工事中湧水多かりしと、市施行地區中初期の工事に屬し取扱上の經驗淺かりし爲、工事進捗上困難尠からざりき、尙工事中玉姫町百三十四番地先より山谷町八十四番地先に至る二十四吋瓦斯輸送管移設工事、補助線街路第三十八號路線中地方今戸町九十四番地先即ち雲母橋附近に於ける水道鐵管移設工事及田中町三十八番地先より地方今戸町九十七番地先に至る俗稱夜店通に於ける各種電柱整理工事(第二章第(三節參照))は、何れも現地の關係上工事の施行に當り特に煩雜なる取扱を要したり。

本地區の工事數量は本枝管線處理電柱五百十六本、管線路一萬二千四百八十間五、其他二百三十五箇所(一地區集計電柱三百三十五本、管線路一萬千五百五十三間九、應急整理一工事電柱四十二本、管線路四百十四間二、其他二百三十四箇所、假本整理電柱百三十九本、管線路九百十二間四、其他一箇所)及私有管線處理六千七百四十六件にして、内道路占用の許可又は承認を爲したる要求工事千三百十三件内道路後修を要したるもの二百九十件なり、之を事業別に見るときは水道工作物管線路五千二十二間六其他千百六十三件及百四十七箇所整理費九萬七千六百三圓三十二錢、市電工作物電柱百二十一本、管線路百四十五間、其他六百八十八件整理費七千四百七十八圓七十九錢、東電工作物電柱三百九十五本管線路六百九十間五、其他四千三百九十五件及三箇所整理費六萬二千三百六十九圓六十三錢、瓦斯工作物管線路六千六百二十二間四、其他五百件及八十五箇所整理費四萬七千一百一圓四十七錢なり、而して本地區に於ける整理費は總計二十一萬四千五百五十三圓二十一錢にして、内私有管線の九萬六千九百

七圓九十六錢を最高とし、一地區集計の八萬九千四百四十二圓五十九錢之に次ぎ、其の他は假本整理、應急整理一工事、道路後修の順序なり、是等の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事一覽

種別	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
一地區集計	電柱	四、四九一・四〇〇	七本	一、八五五・八一	二五八本	一五、六七・二三	三五本	一七、五三・〇四	二八〇本	一、七、五三・〇四
	管線路	四、四九一・四〇〇	一四五・〇〇	四五二・七一	六四七・八〇	一、九六六・七九五、八六九・七二五、二九・三六二、一五・三九	七二、六九・五五	八九、一四・三九	二、〇〇八・〇三	六、〇〇八・六二
應急整理	電柱	二八〇	一〇本	一九一・四〇	三本	一、八五・六三	四本	二、〇〇八・〇三	二八〇	二、〇〇八・〇三
	管線路	二八〇	一、〇九六・八五	一九二・四〇	二六四・九八	一五二・五〇	三、〇〇五・二〇	四四・二	六、〇〇八・六二	
假本整理	電柱	三〇三・二	三本	五〇六・七六	一〇五本	七、八四一・五九	三本	八、三六八・三六	三〇六本	八、三六八・三六
	管線路	三〇三・二	八五・五六	五〇六・七六	一〇五本	七、八四一・五九	三本	八、三六八・三六	三〇六本	八、三六八・三六
私有管線	計	一、二六三・四	八三・五六	五〇六・七六	一〇五本	七、八四一・五九	三本	八、三六八・三六	一、二六三・四	八三・五六
	其他	一、二六三・四	八三・五六	五〇六・七六	一〇五本	七、八四一・五九	三本	八、三六八・三六	一、二六三・四	八三・五六
道路後修	計	一〇八	四、八四五・三二	二二・四六	七〇・四五	一四二	一、一七四・六三	二九〇	六、七二・六六	
	其他	一〇八	四、八四五・三二	二二・四六	七〇・四五	一四二	一、一七四・六三	二九〇	六、七二・六六	

第四十二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

種別	大正十四年		大正十五年		昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
一地區集計	電柱 四本	二,七三七・〇五	電柱 四本	二,七三七・〇五	電柱 一五本	九,四九八・八五	電柱 七本	三,九五四・六八	電柱 五本	一,三八一・四六	電柱 三本	一七,五三三・〇四	電柱 三五本	一七,五三三・〇四
管線路	七八八間	三,八八八・五九三	管線路	三,八八八・五九三	管線路 一五、四一・七七一	一五,四一七・七七一	管線路 二、四八・四六四	二,四八四・六三六	管線路 三、三六・〇七三	三,三六〇・七三三	管線路 二、一五・二〇〇	二,一五二・〇〇〇	管線路 一、一五・二〇〇	一,一五二・〇〇〇
應急工事	電柱 三本	一,六一・八三	電柱 三本	一,六一・八三	電柱 九本	三,四六・二〇	電柱 三本	一,六三九・三三	電柱 五〇間	一,六四二・二一	電柱 三本	一,三三・〇四	電柱 四本	六,〇〇八・六二
管線路	二二七間	一,六三二・二〇	管線路 九ヶ所	一,六三二・二〇	管線路 二九〇・三	二,九四一・八八	管線路 二ヶ所	一,六三九・三三	管線路 一ヶ所	一,一六四・二二	管線路 三ヶ所	二,三〇・〇四	管線路 四ヶ所	六,〇〇八・六二
其他	計	九七五・二五	其他	九七五・二五	其他	九〇一・〇三	其他	二,九四四・四五	其他	一一・四五	其他	一一・四五	其他	二,三〇四・二二
假本整理	電柱 九本	六六六・二三	電柱 九本	六六六・二三	電柱 三本	一,二四四・九八	電柱 三本	二,八三三・〇九	電柱 七九四間	二,七七七・五三	電柱 九本	一,七七一・〇〇	電柱 九本	一,七七一・〇〇
管線路	計	六六六・二三	管線路	六六六・二三	管線路	一,二四四・九八	管線路	二,八三三・〇九	管線路	二,七七七・五三	管線路	一,七七一・〇〇	管線路	一,七七一・〇〇
其他	計	六六六・二三	其他	六六六・二三	其他	一,二四四・九八	其他	二,八三三・〇九	其他	二,七七七・五三	其他	一,七七一・〇〇	其他	一,七七一・〇〇
計	計	六六六・二三	計	六六六・二三	計	一,二四四・九八	計	二,八三三・〇九	計	二,七七七・五三	計	一,七七一・〇〇	計	一,七七一・〇〇

八六五

備考 一 數量欄中には附帶工事數量は掲げざるも金額は合算せり。
二 事業者別合計欄數量には道路後修の數量を含まず。

年度別工事進捗状況

年度	數量	金額
大正十四年	計	五,〇三三・六
大正十五年	計	九七,六〇三・三
昭和二年	計	七,四七八・七
昭和三年	計	六三,三六九・六
昭和四年	計	八六,三三四
昭和五年	計	二二,四〇五
計	計	二四,五三三・二

年度	數量	金額
道路後修	計	一〇八
昭和二年	計	四,八四五・三
昭和三年	計	二二・四六
昭和四年	計	七〇・四五
昭和五年	計	一四二
計	計	一,一七四・六三
計	計	二九〇
計	計	六,七六一・六

第四十二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

八六六

進捗歩合%	100
合 計	1,013,000
私有管線	76,100,000 <small>件</small>
道路後修	3,200,000 <small>件</small>
其他	2,700,000 <small>件</small>
合計	80,000,000 <small>件</small>
進捗歩合%	100

國市負擔區分

種 別	水 道		市 電		電 氣		瓦 斯		計
	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	
一地區集計	10,990,000 <small>円</small>	3,971,270	576,880	1,730,640	4,413,500 <small>円</small>	1,320,050	6,304,840 <small>円</small>	1,894,550	23,285,640 <small>円</small>
	計	3,971,270	計	2,307,550	計	2,764,000	計	2,529,360	66,856,950
應急整理一工事	3,850,290	3,850,290	192,400	192,400	2,369,610	2,369,610	3,918,110	3,918,110	10,350,410
	計	3,850,290	計	192,400	計	2,369,610	計	3,918,110	10,350,410
假本整理	850,500	850,500	506,600	506,600	8,033,780	8,033,780	2,053,800	2,053,800	11,449,980
	計	850,500	計	506,600	計	8,033,780	計	2,053,800	11,449,980
者事拂業	16,242,300	16,242,300	233,730	233,730	9,173,770	9,173,770	1,260,650	1,260,650	26,776,450
	計	16,242,300	計	233,730	計	9,173,770	計	1,260,650	26,776,450
者事	16,907,730	16,907,730	3,722,700	3,722,700	18,441,190	18,441,190	2,871,400	2,871,400	62,933,110
	計	16,907,730	計	3,722,700	計	18,441,190	計	2,871,400	62,933,110
者事	43,150,000	43,150,000	3,946,510	3,946,510	27,614,960	27,614,960	3,998,060	3,998,060	88,709,560
	計	43,150,000	計	3,946,510	計	27,614,960	計	3,998,060	88,709,560

合	道	路	後	修	線私有管				
					計		現金補償(人拂)		
					市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
九七、六〇三・三三	六九、八三九・九六	二七、七六三・三六	四、八四五・三三	四、一三五・四〇	二七、三六二・五〇	一六、七七二・九四	九八五・四一	四五四・七七	五三〇・六四
七、四七八・七九	六、三九五・七六	一、〇八三・〇三	二一・四六	四、四五六・六三	三、九四四・四八	五〇六・一五	五〇四・二二	二二一・七〇	二七、四二一
六二、三六九・六三	四五、九四七・一一	一六、四三三・五二	七〇・四五	三三、五六六・三三	二二、五八二・七五	一一、〇〇三・五七	五、九七一・三六	三、二四一・五六	二、八九一・八〇
四七、一〇一・四七	三九、三六三・五一	七、七七九・九六	一、一七四・六三	二四、七五五・五七	一三、三〇二・四五	一、四三三・二二	七三七・五二	四三二・〇四	三〇六・四七
二四、五三三・二二	一六二、四六六・三〇	五三、〇〇六・八七	六、七六一・八六	九六、九〇七・九六	六六、一九二・一八	三〇、七五五・七八	八、一九八・四〇	四、五九〇・七七	三、九三九・三三

年度別工事費支拂進捗状況

種	別	大正十四年	大正十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	支拂未済	計
一地區集計	應急整理一工事	—	—	—	—	—	—	—	八九、一四二・五九
	假本整理	—	二六〇・六	一、〇、五〇一・七四	一、八八三・八〇	五、五四六・三三	一、一三五・八二	二九八・〇〇	一〇、三三〇・八六
	私有管線	—	—	—	—	—	—	—	—
	道路後修	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—
	市負擔	—	—	—	—	—	—	—	—
	國負擔	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—
	支拂未済	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—

第四十二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

進捗歩合%	計
1	1,900.00
1	1,293,260.43
2	1,039,455.45
2	45,645.13
15	1,333,362.24
16	5,511.21
100	

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

本地區に於ける當初契約數量は電柱三百十三本、管線路一萬千六百五十六間八及之に關係せる各種工作物にして此の整理費九萬八千二百十九圓二十三錢なり、而して假契約は水道工作物に關し大正十四年十月十四日締結したるを、工事は東電工作物に關し同十五年四月二日著手したるを、本契約は同工作物に關し昭和二年十一月二十九日契約したるを各最初とし、それより逐次各事業者と契約を締結し工事を施行したり、其の事業者別契約並工事狀況を示せば左の如し。

事業者	假契約年月日	本契約年月日	工事著手年月日	工事竣功年月日
市水道局	大正一四、一〇、一四	昭和三、四、三	昭和二、三、一七	昭和四、二、五
市電氣局	大正一五、五、一八	昭和三、二、七	大正一五、六、二四	昭和四、二、二九
東京電燈株式會社	大正一五、一、三	昭和二、二、二九	大正一五、四、二	昭和五、二、三
東京瓦斯株式會社	大正一四、二、三〇	昭和二、三、一	大正一五、三、三	昭和五、三、三

東京電燈株式會社	大正 五、一、三	昭和 二、二、元	大正 五、四、二	昭和 五、二、三
東京瓦斯株式會社	大正 一四、二、三〇	昭和 二、三、一	大正 一五、三、三	昭和 五、三、三

工事施行中設計變更を爲したる件數二十四件ありたる結果電柱に於て二十二本増加したるも、管線路に於て五百二間九減少したる爲工事費に於て九千七十六圓六十四錢の減額を爲せり、其の設計變更狀況を見るに左の如し。

種別	電柱		管線路		計
	數量	金額	數量	金額	
當初契約	三三本	一八、五九〇・三五	二、六五八・八	七九、六八八・八八	九八、二九〇・三三
設計變更後(精算)	三三五	一七、五三三・〇四	二、一五三・九	七二、六九三・五五	八九、二四二・五九
差引増△減	二三	一、〇五七・三三	△五〇二・九	△八、〇九三・三三	△九、〇三六・三四

工事並支拂狀況等を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年度	電柱		管線路		計	歩合%
	數量	金額	數量	金額		
大正十五年	四八本	二、七七一・〇五	七八八・八	三、八五六・五九	六、五九五・六四	七
昭和元年	一五	九、四九八・八五	三、二七四・一	一五、四四一・七七	二四、八九一・六二	二六
昭和二年	七九	三、九五八・六八	二、七五七・七	一六、二四八・四六	二〇、二〇三・一四	二二
昭和三年	五〇	一、三八一・四六	四、三三四・三	三六、〇七〇・七三	三七、四五二・一九	四二
昭和四年	三三五	一七、五三三・〇四	二、一五三・九	七二、六九三・五五	八九、二四二・五九	一〇〇

支拂狀況

年	昭和二	昭和三年	昭和四年	昭和五年	計
年度	昭和二	昭和三年	昭和四年	昭和五年	計
國負擔	二,六五・四三	八,一八四・九一	六,七六〇・九八	四,七四・三三	三三,二八五・六五
市負擔	七,八七六・三三	一四,五五四・七九	一〇,二八二・九六	一四,一四二・八九	六六,八五八・九五
計	一〇,五〇一・七四	三二,七三九・七〇	一七,〇四三・九四	一八,八八七・二二	八九,一四三・五九
歩合%	三七	三七	三〇	二二	一〇〇

負擔別對照

負擔區分	潰地面積	比率%	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		計	
			契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額
國負擔	四,七九・五五	二五	一〇,九九五・一四	九,九〇・四三	八五・五七	五七六・八八	四八七・七六	四,四三・五〇	七,八七・三一	六,三〇・八四	二四,五五四・八〇	三三,二八五・六四
市負擔	七,四三・三八	三九	一三,一九四・一八	一八,一八・五二	九七八・六九	六九二・二六	五,八四一・三三	五,二九六・二二	九,四五二・五七	七,五五五・八一	二九,四六五・七七	二六,七四二・七九
補助線街路費	五,五四・四〇	三〇	一三,一九四・一八	一八,一八・五二	九七八・六九	六九二・二六	五,八四一・三三	五,二九六・二二	九,四五二・五七	七,五五五・八一	二九,四六五・七七	二六,七四二・七九
土地整理費	七,四三・三八	三九	一三,一九四・一八	一八,一八・五二	九七八・六九	六九二・二六	五,八四一・三三	五,二九六・二二	九,四五二・五七	七,五五五・八一	二九,四六五・七七	二六,七四二・七九
小公園費	一,〇六九・八六	六	二,三三八・八三	二,三三七・七〇	一九五・七四	一三八・四五	一,一六八・二七	一,〇五九・二四	一,八九〇・三一	一,五三二・一六	五,八九三・一五	五,三四八・五五
計	一四,〇六六・六四	七三	三三,一九五・四三	三九,二七二・四三	一,七〇六・四三	一,七〇六・四三	一四,〇六六・六四	一三,〇〇三・三三	一六,八八三・二八	一八,九四三・三三	七三,六四三・三三	八五,八五五・六四
合計	一八,八六一・九八	一〇〇	四七,〇九〇・八六	五八,五四四・八六	二,九〇二・九〇	二,九〇二・九〇	二八,一三三・三三	二七,〇六二・五七	三三,八七三・三一	三三,八七三・三一	一〇〇,〇〇〇・〇〇	一〇〇,〇〇〇・〇〇

計	一四、〇六・六	七三、九六・四	九二、七二・四	一、七〇・六	三三、〇〇・三	三、六八・九	七、六四・四	八、八五・九
合	一八、八五・九	一〇〇、九〇・九	九二、七二・四	二、七〇・六	三三、〇〇・三	三、六八・九	七、六四・四	八、八五・九

補償金對照

工種	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		計	
	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額	契約金額	精算金額
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	八、七六・三九	六、五三・五九	二、七三・三六	一、九五・一六	一五、四六・一三	一四、九六・一〇	二、七二・四七	一、九三・〇四	四九、三六・三六	四二、七〇・八九
過不足分(一致せざる部分)	三、七五・五一	三五、五八・五九	二三四・三五	三五五・三六	二、八〇・三八	一、九六・七九	二、七九・七〇	三、四五・六四	三七、五九・九四	四一、三六・三八
累計	一、三六・三三	七四・二三	—	—	—	—	三、一七・九六	二、三三・八〇	四、五〇・二八	三、〇七・〇二
小計	四、八五・三三	四、八三・四〇	二、九五・七三	二、三〇・七五	一七、九六・五〇	一六、九四・八九	二六、〇四・三三	二五、一〇・九八	九、四八・四八	八七、一四・二九
附帶工事分(假工事を含む)	二、〇五・四六	一、二七・三九	二九六・五七	—	一、五四・六二	七二・二三	二、八四・一一	一〇九・八八	六、七〇・七五	一、九四・三〇
補償額計	四、九〇・五九	四、九〇・五九	三、二六・三〇	二、三〇・七五	一九、四一・一二	一七、六七・〇三	三、五五・四四	二五、二九・八六	六、二九・三三	八九、四一・五九

第二節 應急整理一工事

本地區に於ける應急整理一工事は件數七十六件整理費一萬三百二十圓八十六錢にして、大正十五年四月五日市水道局關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局二十一件金額三千八百三十五圓二十九錢、市電氣局四件金額百九十二圓四十二錢東京電燈株式會社十七件金額二千三百七十五圓六錢、東京瓦斯株式會社三十四件金額三千九百八十八圓十一錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗状況

年 度	電 柱		管 線 路		其 の 他		計	歩 合 %
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
大正十五年	三本	一、六六一・八三	二一七間	一、六三二・〇〇	九六ヶ所	九七五・三五	二、八〇〇・二六	二七
昭和二年	九	三、六二〇・〇〇	二九〇・二	三、〇四一・八八	一〇二	九〇一・〇二	四、二八九・一〇	四二
昭和三年	—	—	六三・三	一、六三九・三三	二	二九四・四五	一、九三三・七六	一九
昭和四年	—	—	五〇・〇	一、二四二・二二	一	一一四・四五	一、七五五・六六	二
昭和五年	—	—	—	—	三	二二二・〇四	一、三三〇・四一	一
計	四	二、〇〇八・〇三	四四二・二	六、〇〇八・六三	二三四	二、三四三・三三	一〇、三三〇・八六	一〇〇

支拂状況

年 度	國 負 擔		市 負 擔		計	歩 合 %
	數量	金額	數量	金額		
大正十五年	—	—	—	二六〇・六八	二六〇・六八	二
昭和二年	—	—	—	一、八八三・八〇	一、八八三・八〇	一八
昭和三年	—	—	—	五、五六六・三三	五、五六六・三三	五四
昭和四年	—	—	—	一、三〇三・七七	一、三〇三・八二	二
昭和五年	—	—	—	一、一九六・二五	一、一九六・二五	三
計	—	—	—	二、六〇〇・〇六	二、六〇〇・〇六	—

第四十二地區

丙 地下埋設物其他工作物整理

支拂未済	—	二九八・〇〇	一九八・〇〇	一〇、三三〇・八六	一〇〇
計	五・四五	一〇、三三〇・八六	一〇、三三〇・八六	一〇〇	三

第三節 假本整理

本地區に於ける假本整理工事は件數四十件整理費一萬千四百十九圓九十四錢全部市負擔にして、大正十五年三月二日東京電燈株式會社關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局一件金額八百二十五圓五十八錢、市電氣局七件金額五百六圓七十八錢、東京電燈株式會社二十九件金額八千三十三圓七十八錢、東京瓦斯株式會社三件金額二千五百十三圓八十錢なり、而して工事施行中特記すべきは田中町三十八番地先より地方今戸町九十七番地先に至る俗稱夜店通に於ける市電及東電關係電柱整理工事にして、本區間は主として在來街路を北側に移動擴張せらるゝ爲南側廢道敷所在の市電及東電の電柱を廢道敷外に移設せしむべき所、對側には之等工作物と一定間隔を保つべき遞信省電柱あり、故に先づ之を街路擴張部分に移設する計畫なりしも、建物移轉の順序意の如くならず街路擴張部分の建物移轉を見ざるに先だち南側廢道敷に建物の移轉を餘儀なくせられ已むを得ず交通繁盛なる此の區間に假設工事を施行する等特殊の取扱を爲し漸く整理を了したり、本地區の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

種別	水道		市電		東電		瓦斯		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
電柱	—	—	三本	五〇六・六	一〇本	七、七八・五	—	—	一六本	八、三五・三